

2026年2月期第1四半期
(2025年3月1日～2025年5月31日)

決算説明資料

2025年7月15日
東宝株式会社
証券コード:9602

目次

<u>エグゼクティブサマリー</u>	<u>p.2</u>
<u>1. 2026年2月期第1四半期業績</u>	<u>p.3</u>
<u>2. 業績見通し／株主還元</u>	<u>p.19</u>
<u>Appendix 1 ラインナップ</u>	<u>p.23</u>
<u>Appendix 2 業績</u>	<u>p.31</u>
<u>Appendix 3 事業</u>	<u>p.40</u>
<u>Appendix 4 コーポレート</u>	<u>p.57</u>

エグゼクティブサマリー

2026年2月期 第1四半期業績

- 営業収入848億円、営業利益193億円。TOHO animation作品の国内外の配信権利用等が好調に推移
- 前年同期は当社幹事・配給作品の高稼働に加え、「ゴジラ-1.0」の配信権収入を計上したため、減収減益

2026年2月期 通期業績予想

- 政策保有株式の売却による特別利益の計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正

1 — 2026年2月期第1四半期業績

連結業績ハイライト

TOHO animation作品の国内外の配信権利用等が好調に推移したものの、前年同期は「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」「変な家」の高稼働に加え、「ゴジラ-1.0」の配信権収入を計上したこと等から、減収減益

(単位:百万円)

	2025年2月期 第1四半期	2026年2月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比
営業収入	85,976	84,878	△1,098	△1.3%
営業利益	24,576	19,339	△5,237	△21.3%
経常利益	23,351	18,929	△4,422	△18.9%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	16,149	11,565	△4,583	△28.4%

セグメント別業績一覧

(単位:百万円)

		2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	前年同期差	増減要因(営業収入)	増減要因(営業利益)
 映画事業	営業収入	42,938	40,274	△2,664	前年同期の「劇場版ハイキュー!!」「変な家」が高稼働と「ゴジラ-1.0」の配信権収入等が剥落し減収	減収に伴い減益
	営業利益	12,840	9,046	△3,793		
	営業利益率	29.9%	22.5%	△7.4ポイント		
	減価償却費等※		869			
 IP・アニメ事業	営業収入	17,063	18,999	+1,935	「ゴジラ」をはじめとする東宝怪獣キャラクターの商品化権収入やTOHO animation作品の配信権収入等が好調だったことにより増収	「ゴジラ-1.0」「葬送のフリーレン」等のパッケージ販売が剥落したことや、のれんの償却額増等により減益
	営業利益	7,289	6,335	△954		
	営業利益率	42.7%	33.3%	△9.4ポイント		
	減価償却費等※		562			
 演劇事業	営業収入	5,246	5,117	△129	帝国劇場の一時休館の影響等により減収	借館料等の公演に係る費用等の増加により減益
	営業利益	1,009	70	△939		
	営業利益率	19.2%	1.4%	△17.9ポイント		
	減価償却費等※		50			
 不動産事業	営業収入	20,390	20,149	△241	道路事業において大型工事案件が減少したことにより減収	大規模補修修費の減少や道路事業において原材料等上昇分の価格スライドが認められたことにより増益
	営業利益	4,739	5,960	1,221		
	営業利益率	23.2%	29.6%	+6.3ポイント		
	減価償却費等※		1,967			
その他事業	営業収入	337	338	+0	—	—
	営業利益	48	45	△3		
	営業利益率	14.3%	13.4%	△1.0ポイント		
	減価償却費等※		9			
調整額	営業利益	△1,350	△2,118	△768	—	—

※2026年2月期第1四半期 減価償却等(減価償却費+のれんの償却額)は参考値

営業収入推移(四半期)

(単位:百万円)

100,000

90,000

80,000

70,000

60,000

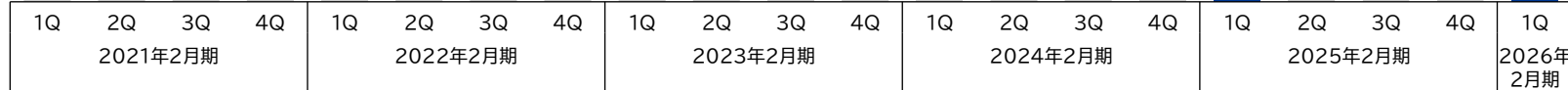
50,000

40,000

30,000

20,000

10,000



・「劇場版ハイキュー!!」「変な家」がヒット
・「ゴジラ-1.0」の配信権収入やビデオグラムの販売が好調

・「ゴジラ」の商品化権や
「薬屋のひとりごと」「僕のヒーローアカデミア」等の配信権収入が伸長

前年同期比
△1.3%

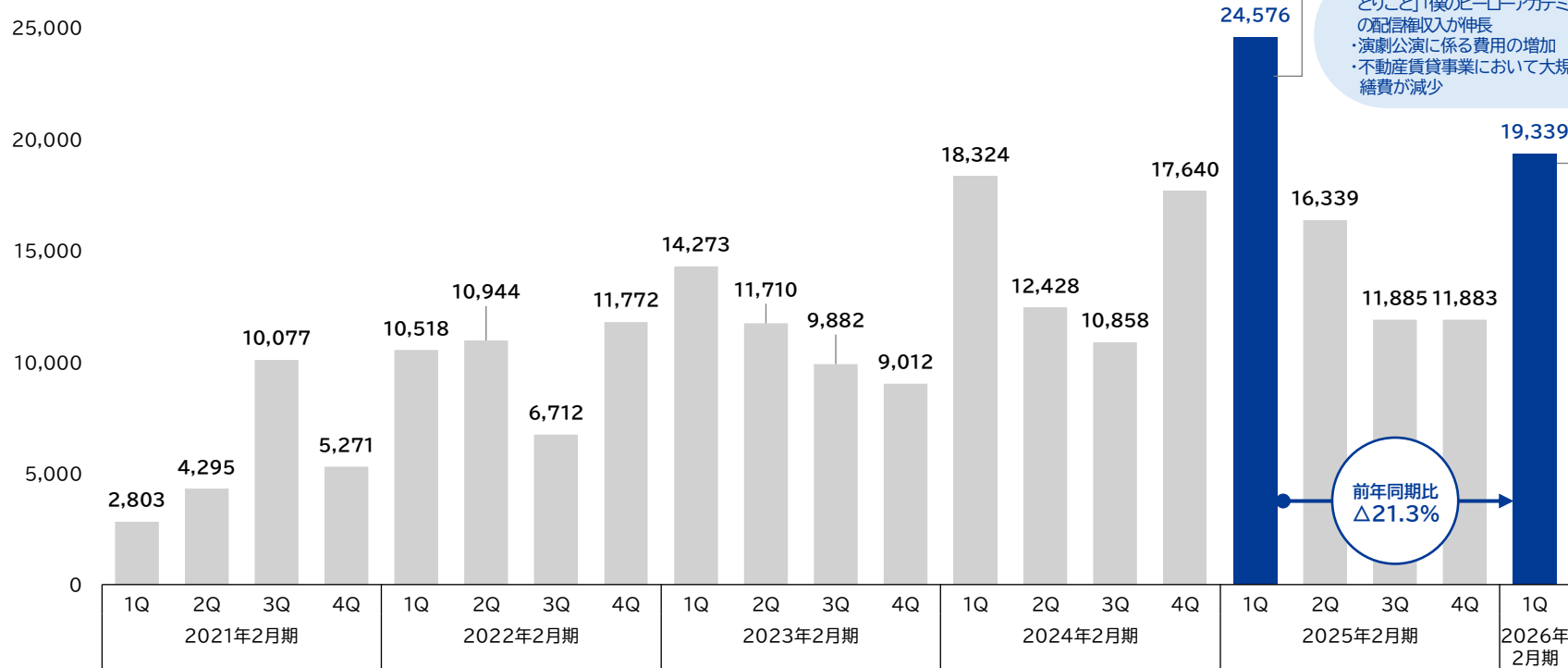
海外売上高比率
・2026年2月期1Q:10.2%
・2025年2月期:9.9%

営業利益推移(四半期)

(単位:百万円)

・「劇場版ハイキュー!!」「変な家」がヒット
・「ゴジラ-1.0」の配信権収入やビデオグラムの販売が好調

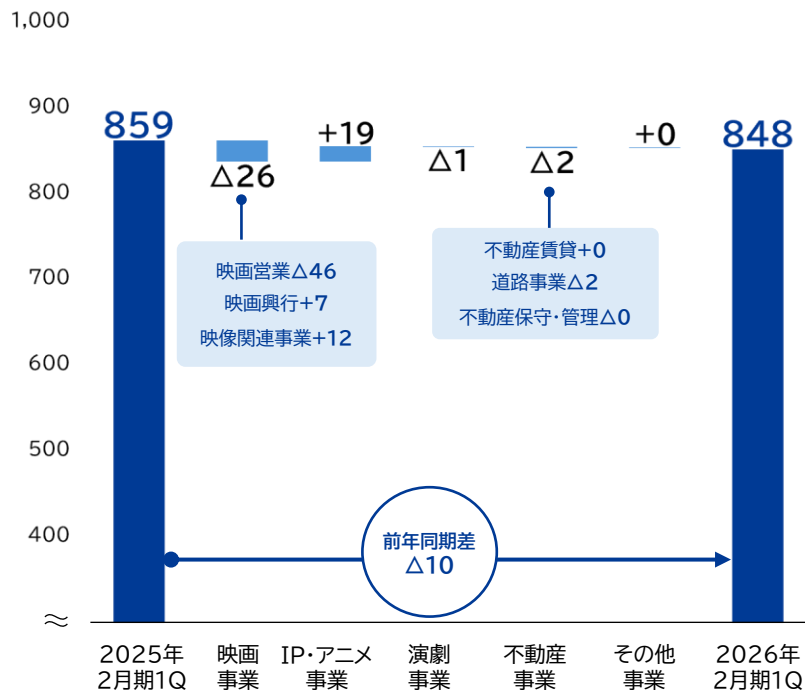
・「ゴジラ」の商品化権や「薬屋のひとりごと」「業のヒーローアカデミア」等の配信権収入が伸長
・演劇公演に係る費用の増加
・不動産賃貸事業において大規模修繕費が減少



営業収入・営業利益の増減

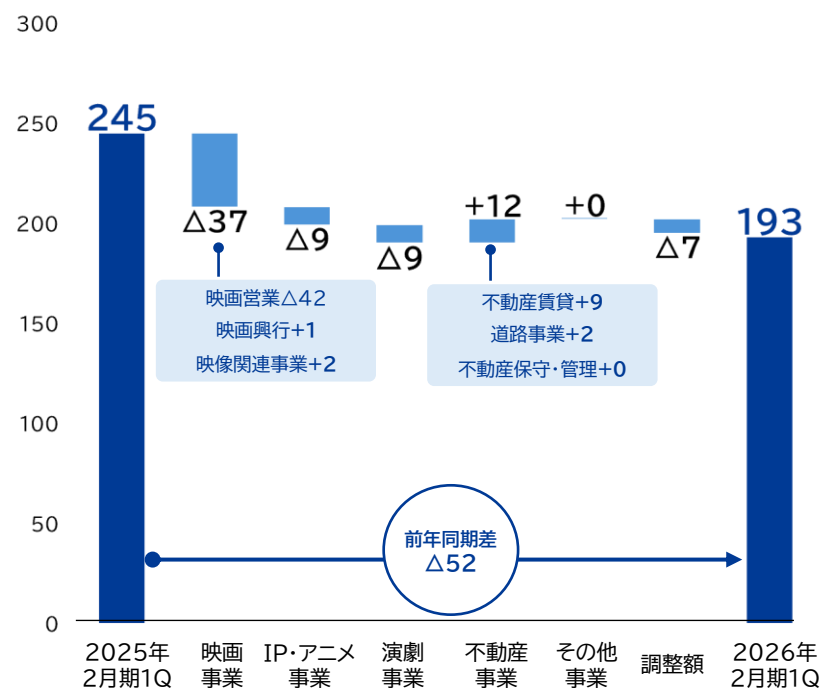
営業収入

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)

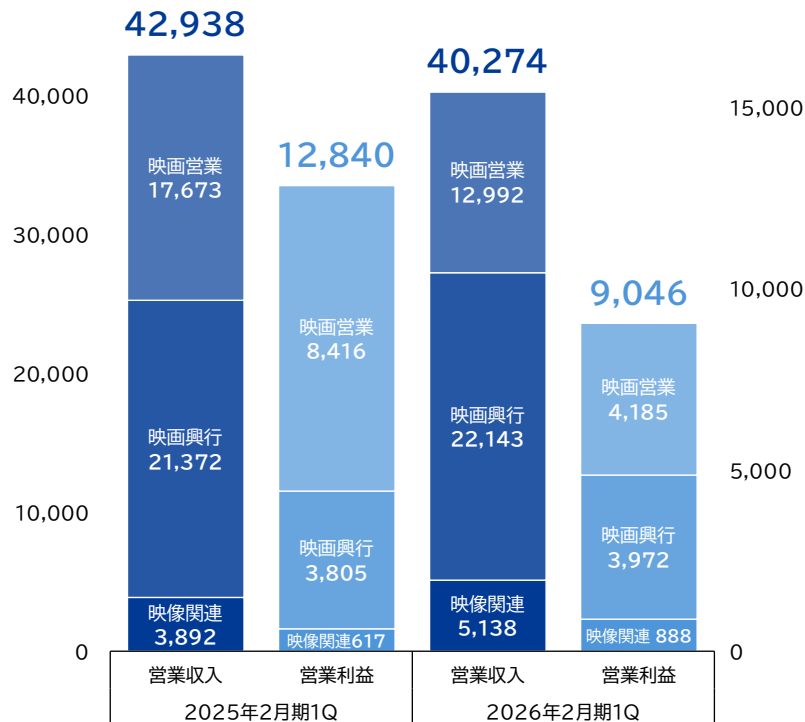


映画事業セグメントの業績

(単位:百万円)

営業収入

営業利益



業績分析(増減要因)

映画営業

「#真相をお話しします」や「ウィキッド ふたりの魔女」「ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング」等がヒットしたものの、前年同期は「劇場版ハイキュー!!ゴミ捨て場の決戦」「変な家」等が高稼働。また、前年同期は「ゴジラ-1.0」の配信権収入が大きく寄与したこと等から減収減益

■参考:配給収入 10,638百万円(前年同期比23.7%減)
映像の利用・許諾 2,063百万円(前年同期比40.0%減)

映画興行

当社配給作品の高稼働等に加え、「マインクラフト/ザ・ムービー」等の洋画の話題作や、ライブビューイング作品も好調に稼働し、増収増益

■参考:興行収入 17,627百万円(前年同期17,077百万円)
映画館入場者数 10,969千人(前年同期比2.2%減)

映像関連

映画やTV・ライブイベント等での舞台製作・美術製作やテーマパークにおける展示物の製作業務、メンテナンス業務等を受注し、増収増益

※映画営業 映画作品の企画・製作及び映像配信をはじめとする権利活用
 ※映画興行 全国に展開するシネマコンプレックス「TOHOシネマズ」の経営
 ※映像関連事業 その他の映像制作、美術製作、広告事業

興行収入の月次推移

映画営業事業 興行収入推移

(単位:百万円)

	2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	前年同期比
第1四半期	36,452	27,042	△25.8%
3月	12,948	7,912	△38.9%
4月	15,354	11,253	△26.7%
5月	8,149	7,876	△3.4%
第2四半期	21,479		
6月	3,871	7,173	85.3%
7月	6,920		
8月	10,687		
第3四半期	13,153		
9月	6,538		
10月	3,165		
11月	3,449		
第4四半期	19,232		
12月	4,906		
1月	7,853		
2月	6,472		
通期	90,318		

※東宝 映画営業部が配給した作品の興行収入

映画興行事業 興行収入推移

(単位:百万円)

	2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	前年同期比
第1四半期	17,077	17,627	3.2%
3月	5,833	5,297	△9.2%
4月	6,380	5,899	△7.5%
5月	4,862	6,429	32.2%
第2四半期	15,601		
6月	3,600	5,823	61.8%
7月	4,862		
8月	7,139		
第3四半期	11,991		
9月	5,070		
10月	3,287		
11月	3,633		
第4四半期	15,457		
12月	5,350		
1月	5,672		
2月	4,434		
通期	60,127		

※全国のTOHOシネマズ等で上映されたすべての作品の興行収入(東宝配給作品を含む)

IP・アニメ事業セグメントの業績

(単位:百万円)

営業収入

営業利益

15,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

17,063

7,289

18,999

6,335

営業収入

営業利益

2025年2月期1Q

営業収入

営業利益

2026年2月期1Q

業績分析(増減要因)

「ゴジラ」をはじめとする東宝怪獣キャラクターの商品化権収入や、「僕のヒーローアカデミア」「ハイキュー!!」「薬屋のひとりごと」「呪術廻戦」等のTOHO animation作品の国内外の配信権利用が伸長

また、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいては「名探偵コナン 隻眼の残像」「映画ドラえもん のび太の絵世界物語」をはじめとする当社配給作品の販売が好調に推移した他、TOHO animation作品のキャラクターグッズ販売やパッケージ販売も寄与

一方、前年同期に好調だった「ゴジラ-1.0」「葬送のフリーレン」等のパッケージ販売が剥落したことや、のれんの償却額の増加等により減益

- 参考:映像の利用・許諾9,065百万円(前年同期比25.3%増)
- 商品化権等の利用・許諾4,286百万円(同46.1%増)
- 商品の販売3,973百万円(同33.1%減)

※TOHO animation作品の企画・製作・権利活用、「ゴジラ」のライセンス事業

TOHO animationのソース別営業収入・国内外構成比

ソース別営業収入

(単位:百万円)

	2025年2月期 第1四半期	2026年2月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比	主な増減要因
配信	5,047	6,801	1,754	34.8%	・「薬屋のひとりごと」「僕のヒーローアカデミア」「ハイキュー!!」等が国内外で好調
キャラクターライセンス	1,688	2,290	602	35.7%	・海外において「呪術廻戦」等が貢献
商品物販	1,463	576	△887	△60.6%	・前年同期は「ハイキュー!!」「呪術廻戦」等のキャラクターグッズが伸長
パッケージ	1,133	221	△912	△80.5%	・前年同期は「葬送のフリーレン」「ウマ娘 プリティーダービー」等が好調
劇場公開	4,120	135	△3,985	△96.7%	・前年同期は「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」がヒット
配分金 その他	1,166	1,618	452	38.8%	・「呪術廻戦」のゲームや、「ハイキュー!!」「Dr.STONE」「葬送のフリーレン」等が貢献
合計	14,621	11,644	△2,977	△20.4%	

国内外構成比

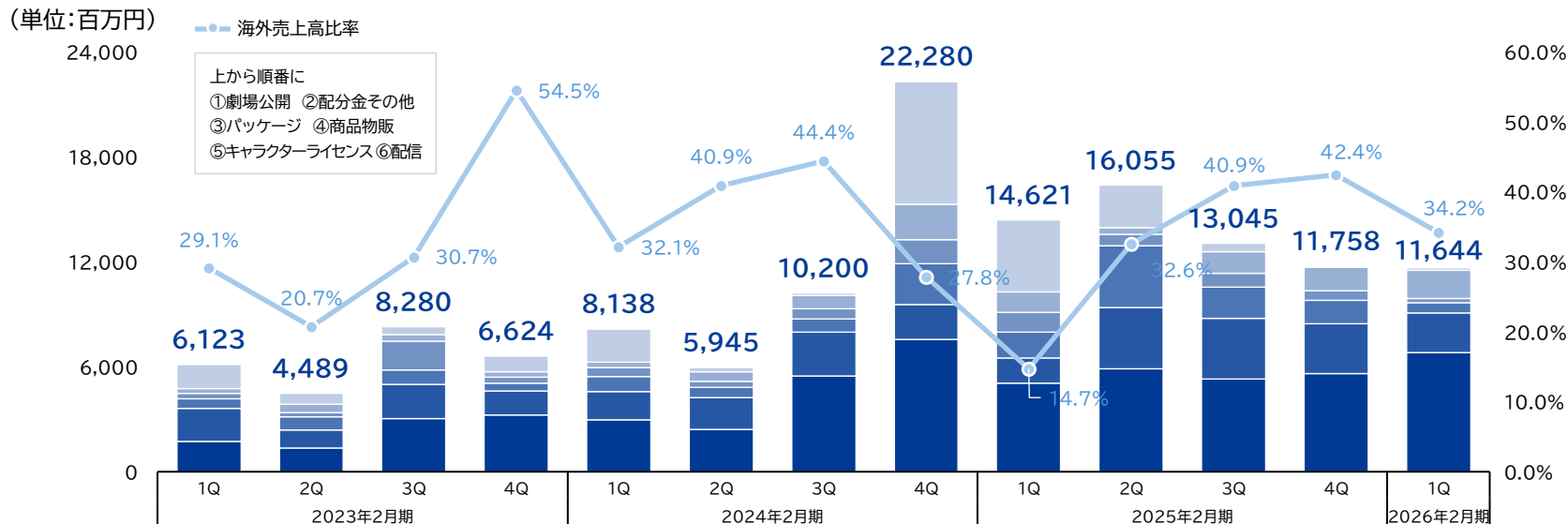
(単位:百万円)

	2025年2月期 第1四半期	2026年2月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比	主な増減要因	構成比
国内	12,475	7,659	△4,816	△38.6%	・「薬屋のひとりごと」等の配信が好調だったものの、前年同期は「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」の劇場公開が貢献	65.8%
海外	2,145	3,984	1,839	85.7%	・「僕のヒーローアカデミア」「呪術廻戦」等の配信・キャラクターライセンスが好調	34.2%

※本表の対象範囲は、TOHO animationレーベル及びこれに準ずる作品です

※当資料は、アニメ事業に関する開示情報の充実性の観点から自主的に作成したものであり、他の決算資料における数値とは整合しない場合があります

TOHO animationのソース別営業収入の推移



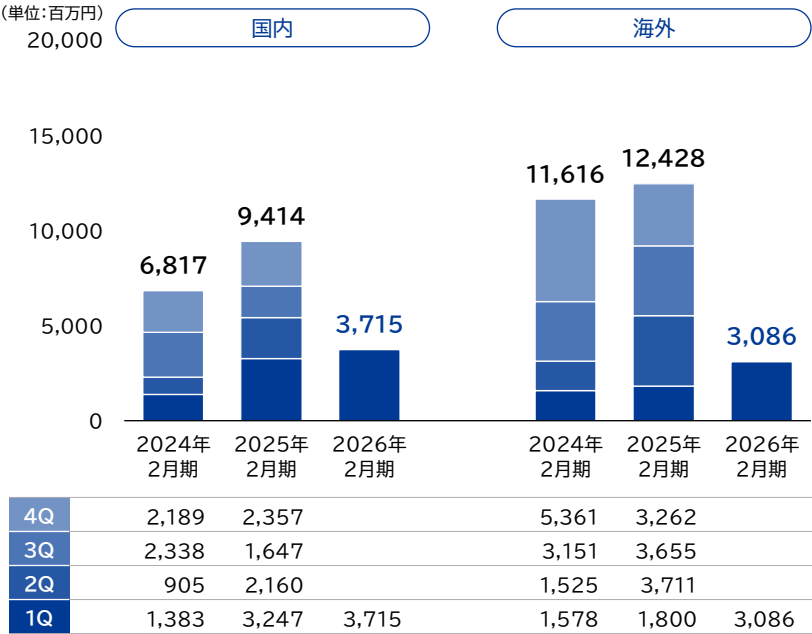
① 劇場公開	1,365	623	427	921	1,856	226	131	6,982	4,120	2,426	473	63	135
② 配分金その他	270	467	372	297	322	544	762	2,017	1,166	391	1,218	1,344	1,618
③ パッケージ	329	263	1,670	341	517	357	585	1,391	1,133	655	809	544	221
④ 商品物販	526	747	798	456	859	574	747	2,338	1,463	3,517	1,770	1,353	576
⑤ キャラクターライセンス	1,907	1,037	1,980	1,355	1,621	1,811	2,483	2,000	1,688	3,192	3,471	2,832	2,290
⑥ 配信	1,724	1,349	3,029	3,251	2,961	2,430	5,490	7,551	5,047	5,872	5,302	5,619	6,801

※海外売上高は「配信」と「キャラクターライセンス」のみ

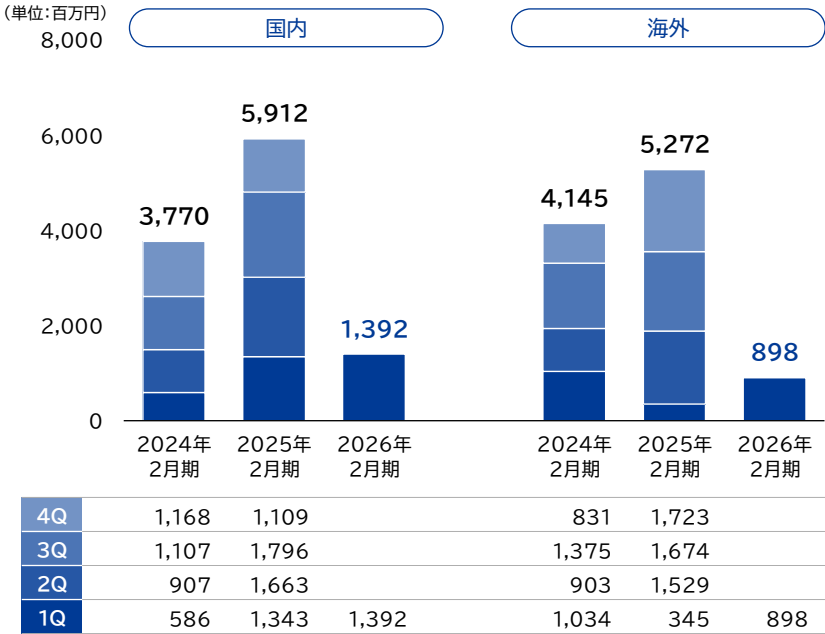
TOHO animation 配信・キャラクターライセンス収入の状況

動画配信やキャラクターライセンスの収益が、アニメビジネスの堅調な成長を牽引

配信収入

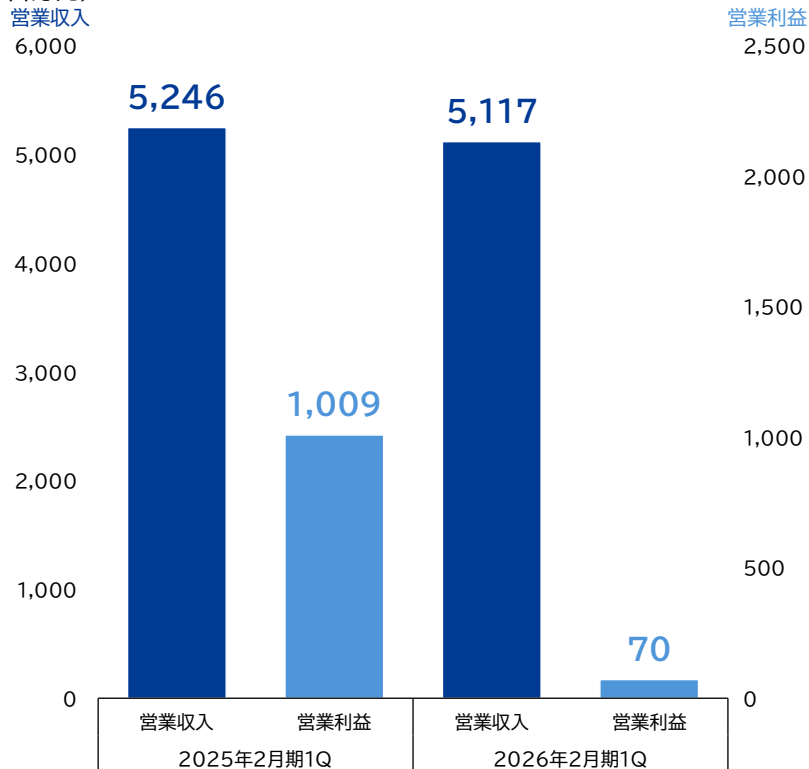


キャラクターライセンス収入



演劇事業セグメントの業績

(単位:百万円)



業績分析(増減要因)

帝国劇場の休館中もシアタークリエ(「ヒーロー」「ボニー＆クライド」「陽気な幽霊」)や、外部の劇場(「ウェイトレス(日生劇場)」「二都物語(明治座)」「ダンスオブヴァンパイア(東京建物 Brillia HALL)」等)を活用し、主催公演の回数確保に努めた結果、営業収入はほぼ横ばい

一方、営業利益は借館料等の公演に係る費用等の増加により減益

東宝芸能(株)は、所属俳優がCM出演等で堅調に稼働

※演劇事業

演劇の製作・興行及び芸能プロダクションの経営

不動産事業セグメントの業績

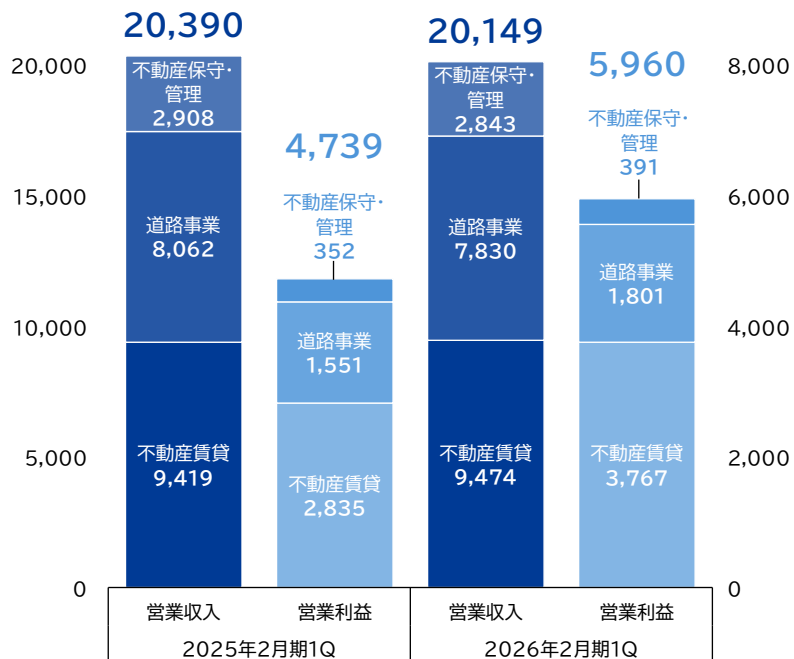
(単位:百万円)

営業収入

25,000

営業利益

10,000



業績分析(増減要因)

不動産賃貸

全国に所有する不動産が堅調に稼働したこと等により増収。利益は前年同期と比べ大規模修繕費が減少したこと等により増益

■参考:賃貸用不動産の空室率:0.2%(前年同期:0.5%)

道路事業

大型工事案件の減少があったものの、原材料等上昇分の価格スライドが認められたこと等により、減収増益

不動産保守・管理

東宝ビル管理㈱及び東宝ファシリティーズ㈱において、新規業務の受注や既存取引先の仕様拡大及び請負金額の改定等に努めたことにより、減収増益

※不動産賃貸

※道路事業

※不動産保守・管理

オフィスビルや商業施設等の賃貸を主体とする不動産業

連結子会社のスバル興業(株)が道路の維持管理・清掃等を展開

ビル等の清掃・設備管理・警備等のビルメンテナンス事業を展開

連結貸借対照表

※自己株式の消却:将来の自己株式の処分による株式価値の希薄化懸念を払拭するために、4月30日に10,490,633株を消却

(単位:百万円)

	2025年2月末	2025年5月末	増減	増減理由及び備考
流動資産	202,050	210,047	7,996	現金及び預金+12,184、有価証券△5,505等
固定資産	451,017	457,941	6,923	
有形固定資産	243,502	245,197	1,695	土地+1,498等
無形固定資産	30,751	29,559	△1,191	ソフトウェア+2,401、のれん△977、その他△2,615
投資その他の資産	176,764	183,184	6,419	投資有価証券+6,001等
資産合計	653,068	667,988	14,920	
流動負債	90,941	92,765	1,823	買掛金+1,866等 (参考:短期借入金の残高23、1年内返済予定の長期借入金の残高308)
固定負債	67,311	72,033	4,722	その他+4,242等 (参考:長期借入金の残高1,500)
負債合計	158,253	164,798	6,545	
株主資本	425,608	428,694	3,086	自己株式+40,286※、利益剰余金△34,023、資本剰余金△3,176
その他の包括利益累計額	52,781	57,727	4,946	その他有価証券評価差額金+7,616、為替換算調整勘定△2,625等
非支配株主持分	16,425	16,767	341	—
純資産合計	494,815	503,189	8,374	
負債純資産合計	653,068	667,988	14,920	
自己資本比率	73.3%	72.8%	△0.5ポイント	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2026年2月期1Q	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	22,309	(増)税金等調整前四半期純利益18,355、減価償却費3,352 (減)法人税等の支払額△12,691
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,514	(増)有価証券の売却による収入6,010 (減)有価証券の取得による支出△6,989、有形固定資産の取得による支出△5,373
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,589	(減)配当金の支払額△8,289
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△280	
現金及び現金同等物の増減額	3,924	
現金及び現金同等物の期首残高	76,608	
現金及び 現金同等物四半期末残高	80,533	

2 ——— 業績見通し／株主還元

2026年2月期 通期業績予想(2025年7月15日修正)

政策保有株式※の売却による特別利益の計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正

(単位:百万円)

	2026年2月期(期初見通し)	2026年2月期(修正値)	期初見通し差	期初見通し比
営業収入	300,000	300,000	—	—
営業利益	57,000	57,000	—	—
経常利益	55,000	55,000	—	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	37,500	43,500	6,000	16.0%

※株式会社丸井グループ、株式会社IMAGICA GROUP

2026年2月期 セグメント別 営業収入予想

(単位:百万円)

	2025年2月期※	2026年2月期(期初見通し)	前期差	前期比
映画事業	209,253	132,200		
映画営業	55,958	40,900		
映画興行	75,633	76,700		
映像関連	77,661	14,600		
IP・アニメ事業	—	69,800		
演劇事業	22,890	18,600	△4,290	△18.7%
不動産事業	79,653	78,000	△1,653	△2.1%
不動産賃貸	37,949	37,300	△649	△1.7%
道路事業	30,274	29,300	△974	△3.2%
不動産保守・管理	11,430	11,400	△30	△0.3%
その他事業	1,372	1,400	27	2.0%

※ 2025年2月期実績は、セグメント区分変更前の数値となります

株主還元

株主還元の方針(中期経営計画2028(FY2026-FY2028))

年間85円/1株の配当を下限に連結配当性向35%以上かつ機動的な自己株式取得を実施

1株当たり配当額等の推移

(単位:円)

100

■ 中間 ■ 期末

75

50

25

0

2017年
2月期

2018年
2月期

2019年
2月期

2020年
2月期

2021年
2月期

2022年
2月期

2023年
2月期

2024年
2月期

2025年
2月期

2026年
2月期(計画)

45.0

45.0

45.0

55.0

35.0

45.0

60.0

85.0

85.0

85.0

12.5

12.5

17.5

17.5

17.5

17.5

20.0

20.0

35.0

42.5

32.5

32.5

27.5

37.5

17.5

27.5

40.0

65.0

50.0

42.5

中期経営計画2025
年間40円をベース・連結配当性向30%以上

中期経営計画
2028

配当性向(%)

24.6

24.2

26.8

27.0

42.4

26.9

31.5

32.8

33.4

—

総還元性向※(%)

49.7

34.7

29.5

27.1

89.2

46.4

61.9

32.9

79.6

—

配当総額(億円)

81.7

81.1

81.0

98.9

62.2

79.6

105.1

148.6

144.6

—

自己株式の取得額(億円)

84.4

35.4

8.3

0.1

68.7

57.9

101.9

0

200.6

—

※総還元性向 = (配当総額 + 自己株式の取得額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益 × 100

Appendix 1 ラインナップ

映画事業

2026年2月期 興行収入10億円以上の作品一覧

(2025年6月末時点)

東宝 配給作品

作品名	公開日	(単位:億円)
		興行収入
名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)	25/4/18	143.1
映画ドラえもん のび太の絵世界物語	25/3/7	45.7
国宝	25/6/6	34.0
#真相をお話します	25/4/25	20.9

東宝東和等の配給作品

作品名	公開日	(単位:億円)
		興行収入
ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング	25/5/23	35.8
ウィキッド ふたりの魔女	25/3/7	35.2

映画事業

2025年2月期 興行収入10億円以上の作品一覧

(2025年6月末時点)

※幹事／共同幹事作品

下線部分は2025年4月「決算説明資料」からの更新箇所

東宝 配給作品

(単位:億円)		
作品名	公開日	興行収入
名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	24/4/12	158.0
キングダム 大將軍の帰還	24/7/12	80.3
ラストマイル	24/8/23	59.6
変な家 ※	24/3/15	50.7
映画ドラえもん のび太の地球交響楽	24/3/1	43.1
映画「グランメゾン・パリ」	24/12/30	<u>41.7</u>
僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト ※	24/8/2	36.0
機動戦士Gundam GQuuuuuuX-Beginning-	25/1/17	<u>34.0</u>
劇場版ドクターX FINAL	24/12/6	<u>32.6</u>
ファーストキス 1ST KISS ※	25/2/7	<u>28.5</u>
映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	24/8/9	26.9
劇場版トリリオンゲーム	25/2/14	<u>20.2</u>
室井慎次 敗れざる者	24/10/11	<u>19.0</u>

映画「ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-」	25/2/21	<u>18.4</u>
スオミの話をしよう	24/9/13	17.7
ゴジラ×コング 新たなる帝国	24/4/26	17.4
室井慎次 生き続ける者	24/11/15	17.0
アンダーニンジャ	25/1/24	<u>15.7</u>
ディア・ファミリー ※	24/6/14	14.7
劇場版「ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉」	24/5/24	14.1
もしも徳川家康が総理大臣になったら ※	24/7/26	12.0
四月になれば彼女は ※	24/3/22	11.9
劇映画 孤独のグルメ	25/1/10	10.1

東宝東和等の配給作品

(単位:億円)		
作品名	公開日	興行収入
怪盗グルーのミニオン超変身	24/7/19	45.3

映画事業

2025年3月以降 配給ラインナップ

(2025年7月15日時点)

東宝 配給作品

作品名	公開日
映画ドラえもん のび太の絵世界物語	25/3/7
お嬢と番犬くん ※	3/14
映画「少年と犬」	3/20
劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)」	4/18
#真相をお話しします	4/25
国宝	6/6
ドールハウス ※	6/13
劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	7/18
劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」	8/1
映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカバダンサーズ	8/8
隣のステラ	8/22
8番出口 ※	8/29
ブラック・ショーマン	9/12
劇場版「チェンソーマン レゼ篇」	9/19
沈黙の艦隊 北極海大海戦	9/26
秒速5センチメートル	10/10
平場の月	11/14
果てしなきスカーレット	11/21
ロマンティック・キラー ※	12/12
新解釈・幕末伝	12/19
恋愛裁判 ※	26/1/23
ほどなく、お別れです ※	26年2月
映画 えんとつ町のプペル ～約束の時計台～	26年春

※幹事／共同幹事作品

下線部分は2025年4月「決算説明資料」からの更新箇所

映画「おそ松さん」第2弾(仮)	26年春
キングダム5(仮)	26年夏
SUKIYAKI 上を向いて歩こう	26年
踊る大捜査線 N.E.W.	26年
「教場」映画プロジェクト	26年
汝、星のごとく ※	26年
劇場版「緊急取調室 THE FINAL」	公開年未定
「ゴールデンカムイ」劇場版2(仮)	公開年未定
ゴジラ新作映画 ※	公開年未定

「TOHO NEXT」レーベル

作品名	公開日
映画しまじろう「しまじろうと ゆうきのうた」	3/14
ZEROBASEONE THE FIRST TOUR [TIMELESS WORLD] IN CINEMAS	3/19
アニメ「怪獣8号」第1期総集編／同時上映「保科の休日」※	3/28
Love Letter【4K リマスター】	4/4
劇場版総集編 呪術廻戦 懐玉・玉折 ※	5/30
CHA EUN-WOO VR CONCERT : MEMORIES	6/20
LUPIN THE IIIRD THE MOVIE 不死身の血族	6/27
JO1 THE MOVIE「未完成」-Bon Voyage- ※	7/4
「劇場版 呪術廻戦 0」復活上映 ※	10/17
INI THE MOVIE「I Need I」※	10/31

映画事業

2025年3月以降 配給ラインナップ(東宝東和、東和ピクチャーズ、GKIDS)

(2025年7月15日時点)

※下線部分は2025年4月決算説明資料からの更新箇所

※本決算説明資料より、新たにGKIDSの作品情報を掲載

東宝東和 配給作品

作品名	公開日
ウィキッド ふたりの魔女	3/7
ブリジット・ジョーンズの日記 サイトー最高な私の今	4/11
BTS ARMY:FOREVER WE ARE YOUNG	<u>7/30</u>
ジュラシック・ワールド／復活の大地	8/8
ヒックとドラゴン	<u>9/5</u>

東宝東和 配給ラインナップ(<https://tohotowa.co.jp/>)

東和ピクチャーズ 配給作品

作品名	公開日
BETTER MAN／ベター・マン	3/28
ミッション:インポッシブル／ファイナル・レコニング	5/23
Mr.ノボカイン	6/20
劇場版スマーフ／おどるキノコ村の時空大冒険	<u>9/19</u>
ランニング・マン	<u>26/1/30</u>

東和ピクチャーズ 配給ラインナップ(<https://towapictures.co.jp/>)

GKIDS 配給作品

作品名	公開日
WITCH WATCH	3/16
PRINCESS MONONOKE 4K IMAX	3/26
COLORFUL STAGE! The Movie: A Miku Who Can't Sing	4/17
WOLF CHILDREN	5/11
DAN DA DAN: Evil Eye	6/6
JUJUTSU KAISEN: Hidden Inventory / Premature Death	7/16
SUMMER WARS	7/27
SHIN GODZILLA	8/14
THE GIRL WHO LEAPT THROUGH TIME	9/28

GKIDS 配給ラインナップ(<https://gkids.com/films-series/>)

IP・アニメ事業 アニメラインナップ

TOHO animation作品

作品名	公開・放送予定	制作会社
アニメ「薬屋のひとりごと」2期	25年1月～6月放送	TOHO animation STUDIO×OLM
アニメ「怪獣8号」第1期総集編／ 同時上映「保科の休日」	25年3月28日劇場 公開(3週間限定)	Production I.G
アニメ「ヴィジランテ-僕のヒーロー アカデミア ILLEGALS-」	25年4月～6月放送	ボンズフィルム
「劇場版総集編 呪術廻戦 懐玉・玉折」	25年5月30日 劇場公開	MAPPA
アニメ「怪獣8号」第2期	25年7月放送	Production I.G
アニメ「Dr.STONE SCIENCE FUTURE」第2クール	25年7月放送	トムス・エンタテイン メント
アニメ「ぶにるはかわいいスライム」 第2期	25年7月放送	TOHO animation STUDIO
アニメ「SPY×FAMILY」Season 3	25年10月放送	WITSTUDIO× CloverWorks
アニメ「僕のヒーローアカデミア FINAL SEASON」	25年10月放送	ボンズフィルム
アニメ「ドロヘドロ」続編	25年配信予定	MAPPA
アニメ「葬送のフリーレン」第2期	26年1月放送	マッドハウス
アニメ「ダーウィン事変」	26年1月放送	ベルノックス フィルムズ
アニメ「TRIGUN STARGAZE」 (シリーズ完結編)	26年放送決定	オレンジ
スペシャルアニメ「ハイキュー!! バケモノたちの行くところ」	テレビ放送決定	Production I.G

※下線は2025年4月決算説明資料からの更新箇所

アニメ「お隣の天使様にいつの間にか 駄目人間にされていた件」2期	26年4月放送	Project No.9
アニメ「無職転生Ⅲ ～異世界行ったら 本気だす～」	26年4月放送	スタジオバインド
アニメ「BEASTARS FINAL SEASON」 Part2	2026年配信	オレンジ
アニメ「ヴィジランテ-僕のヒーロー アカデミア ILLEGALS-」2期	2026年放送	ボンズフィルム
アニメ「呪術廻戦」続編「死滅回游」	制作決定	MAPPA
「劇場版ハイキュー!! VS 小さな巨人」	制作決定	Production I.G
アニメ「ふつつかな悪女ではございますが ～雛宮蝶鼠とりかえ伝～」	制作決定	動画工房
アニメ「狼と香辛料MERCHANT MEETS THE WISE WOLF」2期	制作決定	パッショーネ

ラインナップ: <https://tohoanimation.jp/portal/>

サイエンスSARU作品

作品名	公開・放送予定
「ダンダダン」第2期 (TVアニメシリーズ)	25年7月放送
「SANDA」 (TVアニメシリーズ)	25年10月放送
「攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL」 (TVアニメシリーズ)	26年放送
「天幕のジャードウーガル」 (TVアニメシリーズ)	26年放送

ラインナップ: <https://sciencesaru.com/works>

©TOHO CO., LTD. All Rights Reserved.

IP・アニメ事業

ゲームラインナップ

※下線は2025年4月決算説明資料からの更新箇所

配信中ゲーム作品

作品名	備考
「ゴジラ バトルライン」	スマートフォン向け 企画・制作・開発・運営:東宝 累計400万DL突破
「呪術廻戦 ファントムパレード」	スマートフォン・PC向け 企画・制作:サムザップ、東宝 開発・運営:サムザップ 全世界のプレイヤー数が1,500万人を突破

配信予定ゲーム作品

作品名	備考
「怪獣8号」	スマートフォン・PC向け 企画・制作:アカツキゲームス、東宝、プロダクション・アイジー 開発・運営:アカツキゲームス 宣伝協力:東宝、プロダクション・アイジー
「 <u>天穂のサクナヒメ</u> 」	スマートフォン向け <u>企画・制作・開発・運営:東宝</u>

ラインナップ:<https://www.toho.co.jp/anime/lineup-games>

演劇事業

2025年3月以降 演劇作品ラインナップ

シアタークリエ

※下線は2025年4月決算説明資料からの更新箇所

タイトル	日程
ミュージカル「ヒーロー」	25年2月～3月
ミュージカル「ボニー & クライド」	3月～4月
陽気な幽霊	5月
Nostalgic Cabaret	6月
“ever” Naoto Kaiho Stage Entertainment Activities 30th Concert	6月～7月
ふぉ～ゆ～ meets 梅棒「Only 1, NOT No.1」	7月～8月
ミュージカル「ジャージー・ボーイズ」	8月～9月
音楽劇「エノケン」	10月
ミュージカル「バグダッド・カフェ」	11月
ミュージカル「レベッカ」	26年5月～6月
ミュージカル「RENT」	26年秋

その他主催公演

タイトル	日程	主な劇場名
ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」	25年3月	明治座
ミュージカル「1789 -バスティーユの恋人たち-」	4月	明治座
ミュージカル「ウェイトレス」	4月	日生劇場
ミュージカル「フランケンシュタイン」	4月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ダンス オブ ヴァンパイア」	5月	明治座
ミュージカル「二都物語」	5月	明治座

ミュージカル「梨泰院クラス」	6月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ナイツ・テイル -騎士物語-」 ARENA LIVE	8月	東京ガーデンシアター
ミュージカル「レ・ミゼラブル」ワールドツアー スペクタキュラー	8月	東急シアターオーブ
ミュージカル「四月は君の嘘」	8月～9月	昭和女子大学人見記念講堂
ミュージカル「Once」	9月	日生劇場
ミュージカル「SPY×FAMILY」	9月～10月	日生劇場
CLUB SEVEN another place II	10月	有楽町よみうりホール
ミュージカル「エリザベート」	10月～11月	東急シアターオーブ
ミュージカル「マタ・ハリ」	10月～11月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「十二国記 -月の影 影の海-」	12月	日生劇場
ミュージカル「ジキルとハイド」	26年3月	東京国際フォーラム ホールC
ミュージカル「ミス・サイゴン」	26年	(未定)

海外公演

タイトル	日程	劇場名
舞台「千と千尋の神隠し」上海公演	25年7月～8月	上海文化広場

ラインナップ: <https://www.toho.co.jp/stage/lineup>

Appendix 2 業績

セグメント別 営業利益率の推移

(単位:%)

	2021年2月期					2022年2月期					2023年2月期					2024年2月期					2025年2月期					2026年2月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	累計
全社	8.5	10.5	15.8	9.7	11.7	18.2	18.2	13.3	19.7	17.5	23.1	20.0	16.6	14.0	18.4	24.7	19.0	17.1	22.0	20.9	28.6	21.0	16.9	15.0	20.7	22.8	22.8
映画事業	—	6.5	15.5	7.5	8.9	16.1	18.8	9.3	22.6	17.2	23.4	20.7	15.5	14.2	18.4	25.8	22.0	16.5	26.6	23.2	33.5	25.2	17.3	18.5	24.3	22.5	22.5
映画営業※1	2.4	33.7	19.0	3.7	16.3	21.9	26.4	22.2	41.9	28.5	40.9	35.9	34.3	22.3	33.1	41.8	35.9	23.6	46.9	38.5	50.0	39.0	28.8	29.8	39.5	32.2	32.2
映画興行	—	—	12.9	1.0	—	2.3	5.7	—	7.1	2.9	12.0	15.4	3.7	8.4	10.4	20.1	16.2	6.7	10.2	14.1	17.8	15.5	4.7	11.3	12.9	17.9	17.9
映像関連事業※1	14.2	12.2	14.5	23.6	16.5	24.7	28.5	18.5	27.5	25.1	22.4	19.3	15.3	15.2	17.7	19.4	20.1	21.0	28.6	23.2	34.0	23.4	21.6	19.3	24.4	17.3	17.3
IP・アニメ事業※1																										33.3	33.3
演劇事業	—	—	3.8	—	—	16.8	18.0	24.5	0.5	25.3	16.2	9.6	20.5	12.5	15.2	22.5	1.2	20.6	15.2	15.5	19.2	4.9	20.6	24.0	18.0	1.4	1.4
不動産事業	29.6	27.0	25.6	22.5	26.2	29.6	23.6	23.5	24.4	25.3	29.7	27.5	25.8	22.2	26.3	29.4	24.2	25.8	22.5	25.5	23.2	21.8	22.8	16.9	21.1	29.6	29.6
不動産賃貸	47.6	44.5	44.6	39.9	44.2	46.6	40.7	42.4	43.1	43.2	43.6	43.8	42.2	35.4	41.2	45.4	37.6	38.0	36.8	39.4	30.1	30.6	32.0	20.6	28.3	39.8	39.8
道路事業	21.7	14.2	11.7	10.5	14.7	21.0	11.0	10.8	14.3	14.5	24.1	16.5	14.7	14.2	17.6	21.0	14.6	18.7	12.6	16.8	19.2	14.1	14.7	15.0	15.9	23.0	23.0
不動産 保守・管理	3.3	8.3	8.1	8.6	7.0	9.0	10.7	2.7	7.2	7.4	9.0	9.0	9.6	9.5	9.3	9.0	12.8	9.9	10.7	10.7	12.1	10.1	12.4	10.0	11.2	13.8	13.8

※1 2026年2月期より「IP・アニメ事業」を新設したことに伴い、映画営業と映像関連事業(旧・映像事業)の一部を「IP・アニメ事業」に移管 ※2 営業利益率:マイナスは「—」で表示

※3 2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」を適用

営業外収益・費用及び減価償却費

(単位:百万円)

	2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	増減	増減要因
受取利息	56	107	50	—
受取配当金	27	21	△5	—
為替差益	217	—	△217	—
補助金収入	19	200	180	—
その他	122	142	19	—
営業外収益合計	443	470	27	
支払利息	13	3	△9	—
持分法による投資損失	1,644	757	△887	前年同期と比べのれんの償却額減
為替差損	—	115	115	—
その他	11	5	△5	—
営業外費用合計	1,668	881	△787	

	2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	増減	増減要因
減価償却費	3,020	3,352	332	無形資産の償却費増等

特別利益・特別損失

(単位:百万円)

	2025年2月期1Q	2026年2月期1Q	増減	増減要因
受取保険金	20	—	△20	—
特別利益合計	20	—	△20	
固定資産圧縮損	9	—	△9	—
固定資産解体費用	—	574	574	不動産事業における解体費用発生(調布市等)
特別損失合計	9	574	564	

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:百万円)

2026年2月期第1四半期	報告セグメント				その他	合計
	映画事業	IP・アニメ事業	演劇事業	不動産事業		
主要なサービス						
映画館への国内配給	10,638	—	—	—	—	10,638
映像の利用・許諾	2,063	9,065	—	—	—	11,128
映画館の経営	22,143	—	—	—	—	22,143
映像作品等に係る美術製作	2,799	—	—	—	—	2,799
商品化権等の利用・許諾	—	4,286	—	—	—	4,286
商品の販売	—	3,973	—	—	—	3,973
演劇の製作・興行	—	—	5,117	—	—	5,117
道路の維持管理・清掃等	—	—	—	7,283	—	7,283
不動産の保守・管理	—	—	—	2,843	—	2,843
その他	2,630	1,674	—	299	338	4,942
顧客との契約から生じる収益	40,274	18,999	5,117	10,427	338	75,156
その他の収益※	—	—	—	9,721	—	9,721
外部顧客への売上	40,274	18,999	5,117	20,149	338	84,878

※ その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

収益分解情報のセグメント変更前・後比較と主な構成要素

顧客との契約から生じる収益を分解した情報(2026年2月期第1四半期 決算短信 p13-14)の各項目に含まれる主な要素は下記の通り(同一番号は同一内容を示す)

■セグメント変更前 (2025年2月期まで)

映画事業	主な構成要素
映画館への配給	①配給 ※ゴジラ映画、TOHO animationアニメ映画作品の国内配給分を含む
劇場用映画の国内配信	②映画の国内配信
映画館の経営	③映画興行
アニメコンテンツの利用	④アニメ作品の国内・国外の二次利用 (番組販売(例:配信サービス、機内上映)) ⑤アニメや実写(映画作品等)の商品化権収入 ⑥アニメの製作出資収入
パッケージの販売	⑦パッケージ販売(例: DVD)
映像作品等に係る美術製作	⑧映画等の美術セット等の製作
その他	⑨実写(映画作品等)の国内の二次利用(配信を除く)、 国外の二次利用(TGやTEAが販売代行しているもの) ⑩TIやGKIDSの収入 ⑪実写(映画作品等)の製作出資収入 ⑫グッズ、パンフレット、ゴジラ・ストア、ECサイトの収入 ⑬ゴジラの商品化権収入 ⑭実写(映画作品等)の制作、スタジオ運営、広告事業 ⑮アニメの制作(サイエンスSARU等)、ゲーム、音楽

■セグメント変更後 (2026年2月期以降)

	映画事業	IP・アニメ事業
映画館への国内配給	①	
映像の利用・許諾	②⑨⑪	④⑥⑩
映画館の経営	③	
映像作品等に係る美術製作	⑧	
商品化権等の利用・許諾		⑤⑬
商品の販売		⑦⑫
その他	⑭	⑮

※TG=TOHO Global㈱、TI=Toho International, Inc.、GKIDS=GKIDS, INC.、TEA=TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.

TOHO animationソース別営業収入と収益分解情報との関連

- 「TOHO animationソース別営業収入」の区分(スライドp12)と「顧客との契約から生じる収益を分解した情報」(2026年2月期第1四半期 決算短信 p13-14)の関係は下記の通り
- 同ソース別営業収入のうち、「劇場公開」以外は、IP・アニメ事業セグメントにおける分解情報の各サービスに含まれる



※TOHO animation作品関連は、同ソース別営業収入の区分にも一部含まれる

TOHO animationソース別営業収入の区分

= IP・アニメ事業に計上

(単位:百万円)

	2025年2月期 第1四半期	2026年2月期 第1四半期	前年同期差
配信	5,047	6,801	1,754
キャラクターライセンス	1,688	2,290	602
商品物販	1,463	576	△887
パッケージ	1,133	221	△912
劇場公開	4,120	135	△3,985
配分金 その他※	1,166	1,618	452
劇場公開除く合計	10,500	11,508	1,008

※ゲームを含む

IP・アニメ事業セグメント:収益分解情報

= IP・アニメ事業に計上

(単位:百万円)

	2025年2月期 第1四半期	2026年2月期 第1四半期	前年同期差
映画館への国内配給	13,951	10,638	△3,313
映像の利用・許諾	7,232	9,065	1,832
映画館の経営	21,372	22,143	770
商品化権等の利用・許諾	2,933	4,286	1,353
商品の販売	5,943	3,973	△1,969
その他※	954	1,674	719
映画館部分を除く合計	17,063	18,999	1,935

※ゲームを含む

2025年2月期 海外売上高の地域別構成比

営業収入内訳

(単位:百万円)

350,000

300,000

250,000

200,000

150,000

100,000

50,000

0

■ 日本 ■ 海外

313,171

31,146
(9.9%)282,024
(90.1%)

2025年2月期

海外売上高 地域別構成比

アジア
6,247百万円
20.1%その他
1,696百万円
5.4%31,146
百万円北米
23,202百万円
74.5%

※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております

企業結合等関係（GKIDS）

（2025年2月末時点）

被取得企業の取得原価、発生したのれんの金額、償却方法及び償却期間等

（単位：百万円）

被取得企業の取得原価	19,200
発生したのれん	12,789
償却方法及び償却期間	20年にわたる均等償却
企業結合日	2024年10月17日

のれん以外の無形資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

（単位：百万円）

種類	金額	加重平均償却期間
契約関連無形資産	3,729	5年
その他	929	15年
合計	4,659	

企業結合日に受け入れた資産及び負債の額並びにその主な内訳

（単位：百万円）

流動資産	14,417
固定資産	4,659
資産合計	19,076
流動負債	10,215
固定負債	2,449
負債合計	12,664

Appendix 3 事業

映画事業

中期経営計画の内容と直近のトピックス

- ・「自社企画作品の製作推進」「映画以外のコンテンツ配給の拡充」により収益力をさらに高め、映画事業をより強固にしていきます。
- ・海外グループ会社との連携により、世界を見据えた日本実写コンテンツの企画開発を促進します。

Point 1 自社企画・製作の推進

- ・企画/宣伝人材の増強と製作費の積極投下によって、2032年までに自社製作作品の供給能力を前中計期間の2倍(年約10本)に高めることを目指す

Point 2 世界を目指した実写企画開発の促進

- ・グローバル企画専門部署を設置し、世界へ届ける企画開発を促進

Point 3 配給ラインナップのさらなる拡充

- ・年約30本の邦画編成(東宝配給)、洋画(東宝東和・東和ピクチャーズ配給)に加え、TOHO NEXTレーベル(演劇・音楽・スポーツ等)拡充で新たなお客様とつながり、グループ年間興収1,000億円超を恒常的に目指す

Point 4 選ばれるTOHOシネマズに

- ・映画館へ継続的に設備投資し、最高水準の鑑賞環境を提供
 - ✓ IMAX、Dolby Cinema等の特殊シアター、プレミアムシートを追加導入
 - ✓ コンセッションにセルフ・モバイルオーダーシステムを導入
 - ✓ 2026年、東京・大井町と名古屋・栄に2つの新館をオープン予定

直近のトピックス

- ・新たにTOHOシネマズ 名古屋栄(仮称)に“IMAX®レーザー”の導入が決定(2026年夏頃)
- ・TOHOシネマズ 宇都宮、TOHOシネマズ 赤池の2劇場に“IMAX®レーザー”を7月18日に導入
- ・「国宝」「ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング」「ドールハウス」等がヒット

(ご参考)配給・製作・幹事本数

東宝※

	FY2/24	FY2/25	FY2/26(予定)
配給	28	39	29
製作	18	27	18
幹事	8	8	7

東宝東和／東和ピクチャーズ

	FY2/24	FY2/25	FY2/26(予定)
配給	17	16	7

※FY2/25より実写やアニメ、音楽、ステージ等の配給を行うレーベル「TOHO NEXT」作品を含む

映画事業

「劇場版 鬼滅の刃 無限城編 第一章 猗窩座再来」が待望の公開



「劇場版 鬼滅の刃 無限城編 第一章 猗窩座再来」
7月18日全国ロードショー

- 日本の歴代最高の興行収入となった「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」(2020年10月公開)は、興行収入404.3億円を記録
- 4月4日より「鬼滅シアター -「鬼滅の刃」特別編集版 劇場上映-」と題し、「竈門炭治郎 立志編」から「柱稽古編」までの特別編集版を上映。さらに、5月9日より「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」をリバイバル上映
- 柱稽古編に続く物語を描く「劇場版 鬼滅の刃 無限城編」は三部作として制作され、第一章が7月18日に公開

公開日	鬼滅シアター -「鬼滅の刃」特別編集版 劇場上映-
4/4~5/8	竈門炭治郎 立志編
5/23~6/5	遊郭編
6/6~6/19	刀鍛冶の里編
6/20~7/3	柱稽古編
公開日	作品名
5/9~6/12	「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」リバイバル上映

IP・アニメ事業 中期経営計画の内容と直近のトピックス

- ・ 良質なコンテンツ・IPを数多く製作し、世界へ展開するために、人員増による体制の拡充と制作スタジオ機能の強化を図ります。
- ・ 成長領域である海外とゲームの収益をさらに伸長させ、IP・アニメ事業の営業利益を200%^{*1}以上にします。

*1 2025年2月期対比

Point 1 製作の強化

- ・ TOHO animationの企画・製作・宣伝体制と東宝グループの制作スタジオ機能の増強により、良質なコンテンツ・IPの増産



Point 2 海外の強化

- ・ 海外拠点を拡充し、各地域のライセンス機能を強化することで、海外でのコンテンツ・IP運用の内製化を図る

Point 3 ファンビジネスの追求

- ・ ECプラットフォームの拡充、新会員サービスとの連携、コラボカフェの展開等、お客様と直接つながるファンビジネスを推進

Point 4 ゲーム開発の促進

- ・ ゴジラや自社アニメのヒットIPに狙いを絞ってゲーム開発・展開を促進

直近のトピックス

● GKIDS INC.

・ 人気アニメ「ダンダダン」(サイエンスSARU制作)第2期(1～3話)の先行上映となる「Dan Da Dan: Evil Eye」をGKIDSが配給

・ 前作(「DAN DA DAN: First Encounter」)比大幅に興行収入を上乗せして作品のファン層拡大に貢献

● Toho International, Inc.

・ 6月にTOHO animation作品の各種商品を取り扱う「TOHO animation STORE (<https://tohoanimationstore.us/>)」(北米)の運営を開始

・ 米国で人気の映画館チェーン、アラモ・ドラフトハウス・シネマとライセンス契約を締結。東宝大怪獣シリーズ作品のIPを活用し、新たなファン体験とビジネス機会を創出

IP・アニメ事業 ゴジラ戦略(中期経営計画の内容と直近のトピックス)

ゴジラは「映像コンテンツビジネス」から「IPビジネス」へ——3年間で約150億円を投下し、マルチユースに展開。ゴジラのブランド価値を高め、新会員サービスとの連携によって、ファンともっとつながり、ファンをより一層拡げていきます。

商品 イベント	ライセンスの拡大、自社商品開発の拡大	
	アトラクション展開	より幅広い層へゴジラを体感させるアトラクション
店舗	「ゴジラ・ストア」拡大	Tokyo, Osakaに続き、台場と渋谷に新店舗オープン
ゲーム デジタル	コンソールゲーム開発	大型投資による全世界のゲームファンを取り込むコンソールゲーム開発
	モバイルゲーム開発	ライトファンを取り込むモバイルゲーム開発
映像	映像コンテンツ開発	テレビ、配信等プラットフォームに拘らないコンテンツ開発
	劇場用映画	ゴジラ新作映画が監督・脚本・VFX 山崎貴で製作決定！

直近のトピックス

● ライセンスの拡大、自社商品開発の拡大

・トレーディングカードゲーム「ゴジラ カードゲーム」を7月5日より全国のトレーディングカードゲーム専門店・量販店等で発売(海外でも同日発売)



TM & © TOHO CO., LTD.

● アトラクション展開

・全世界40施設以上に導入されているライドアトラクション・システム「i-Ride」向けに、「ゴジラ」のライドアトラクション映像の新規製作及びライドアトラクション映像の配給事業を開始

・8月1日より、山崎貴監督が製作した「ゴジラ・ザ・ライド グレートクラッシュ」の世界最速上映を西武園ゆうえんちで実施



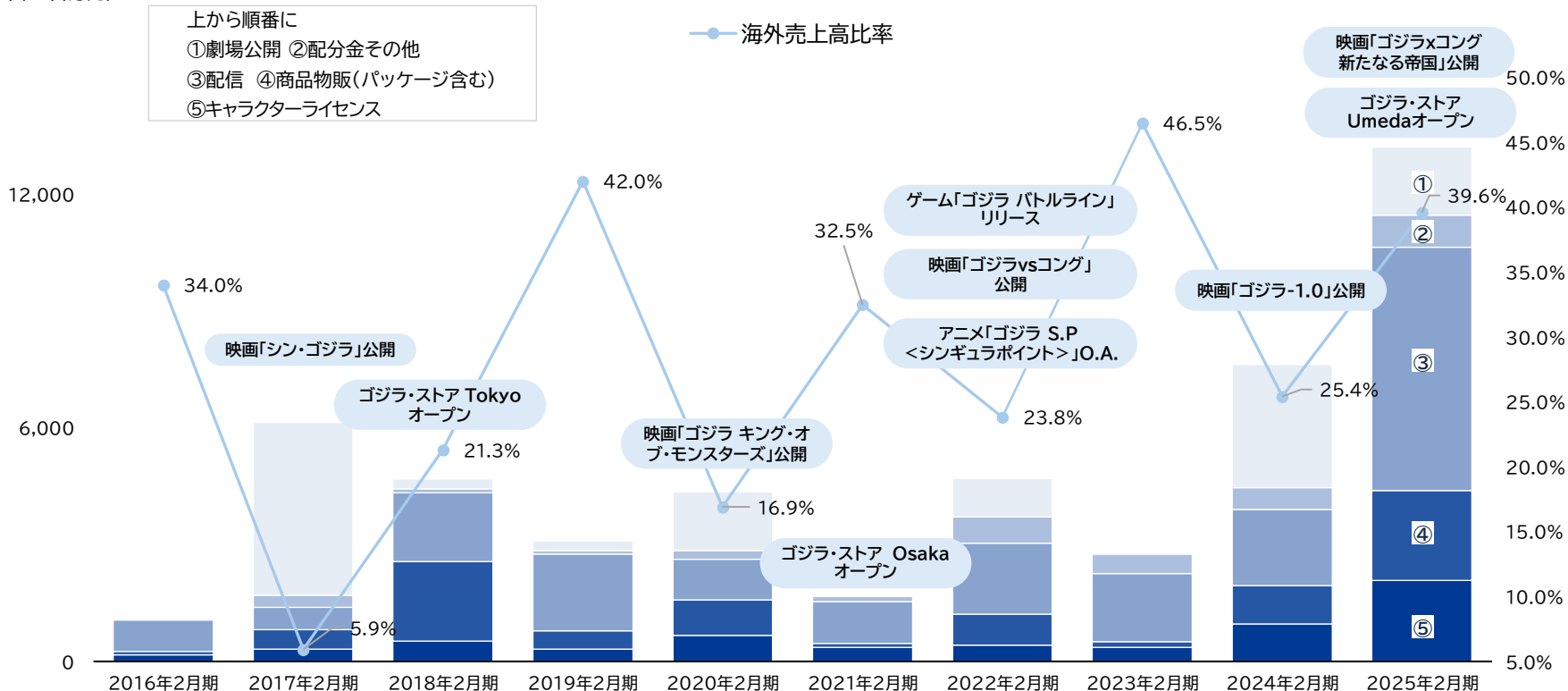
TM & © TOHO CO., LTD.

● 劇場用映画

・8月14日より映画「シン・ゴジラ」を北米初公開となる4Kリマスター版で上映(配給: GKIDS)

IP・アニメ事業 ゴジラシリーズ ソース別営業収入実績の推移

(単位:百万円)



中国本土における「ゴジラ」シリーズのライセンス事業・
ブランディングを推進

7月15日、中国本土における「ゴジラ」IPライセンス事業推進に向けて、上海新創華文化发展有限公司(SCLA)と戦略的パートナーシップを締結



左: SCLA会社外観、 右: ゴジラブランドロゴ(中国語版)

- 本提携により、SCLAは中国本土市場において「ゴジラ」シリーズのキャラクター認知拡大、商品化、展示イベント、マーケティングキャンペーン等、幅広いライセンス関連事業を担う
- 今後、アジア戦略拠点であるTOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.(シンガポール)は、東宝とSCLA間の戦略連携のハブとして、IPの中国本土市場におけるローカライズと円滑な事業推進を担う

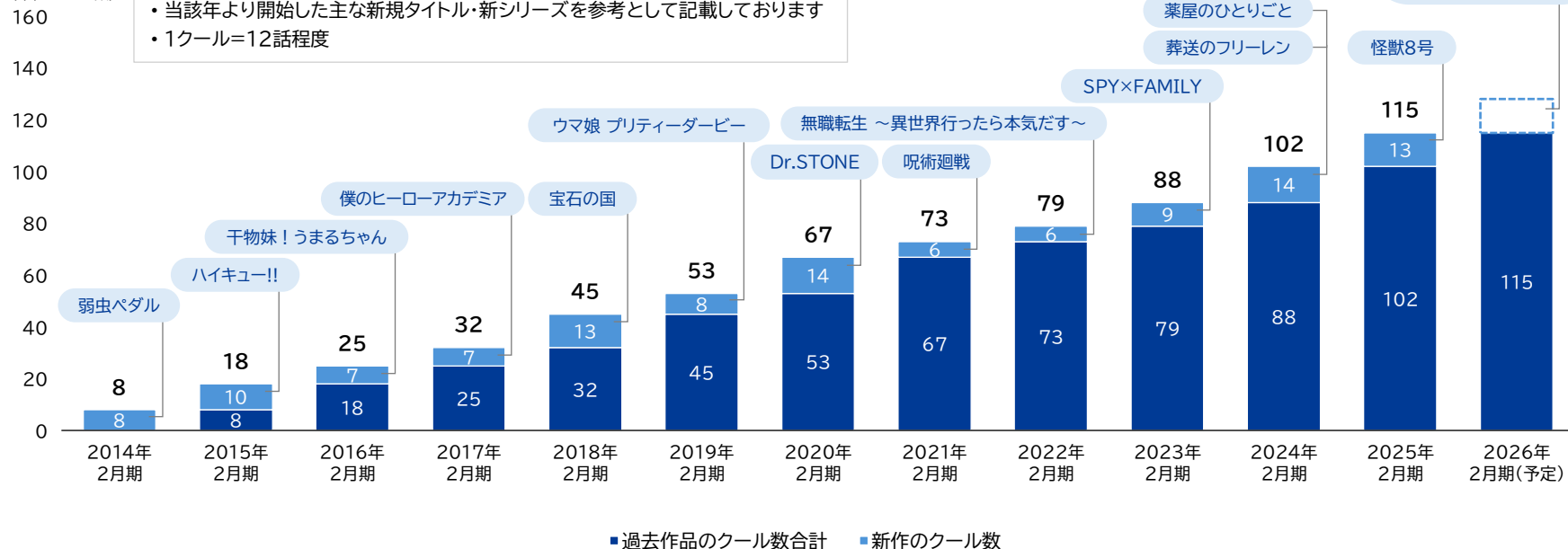
IP・アニメ事業 TOHO animation クール数の積み上がり

(2025年4月決算説明資料の再掲)

新規のテレビアニメや新シリーズの追加によって収益源となるIP数を積み上げるとともにコンテンツの長寿化を図り、継続的かつ安定的なビジネスモデルを構築

(単位:クール数)

- ・当該年より開始した主な新規タイトル・新シリーズを参考として記載しております
- ・1クール=12話程度



IP・アニメ事業 IP・アニメ事業セグメント:事業別

(2025年4月決算説明資料の再掲)

2026年2月期より、「映画営業事業」「映像事業」からIPビジネス及びアニメ関連ビジネスを抽出し「IP・アニメ事業」を報告セグメントとして独立

【変更前】		【変更後】	
報告セグメント		報告セグメント	主な事業内容
映画事業		映画事業	
映画営業事業		映画営業事業	映画の企画・製作・配給事業
映画興行事業		映画興行事業	映画館の経営に関する事業
映像事業		映像関連事業	その他の映像制作、美術製作、広告事業
		IP・アニメ事業	TOHO animationの企画・製作・権利利用、ゴジラのライセンス事業
演劇事業		演劇事業	演劇の製作・興行事業
不動産事業		不動産事業	不動産賃貸、道路、不動産保守・管理事業
その他		その他	スポーツ施設等の経営、物販業等

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントです。

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメント：子会社別の変更前・後

(2025年4月決算説明資料の再掲)

連結子会社を会社単位で切り分け、一部の「映画事業」の組織・子会社を「IP・アニメ事業」へ



(注)

- ・上記子会社の傘下にある子会社を含む。表示スペースの都合上、複数の会社をまとめて記載しているが、特定の基準や意図に基づくものではない
- ・2025年2月期の映画事業セグメントの営業収入の約3割、セグメント利益の約4割がそれぞれ「IP・アニメ事業」に移行
- ・「IP・アニメ事業」に占めるゴジラ関係の営業収入は1割強(2025年2月期実績からの試算値で、主にIPや商品販売、北米での劇場配給。なお、映像配信の営業収入は映画営業事業に計上される)
- *1: TOHO Global㈱、Toho International, Inc.、TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.、GKIDS, INC.
- *2: ㈱東宝映像美術、㈱東宝コスチューム、東宝舞台㈱、TOHOマーケティング㈱、㈱エイド・ディーシーシー、㈱ガイエ

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメント：作品の商流別計上先

(2025年4月決算説明資料の再掲)

主な作品の商流別計上先は以下の通り。ゴジラとアニメ関係の一部営業収入は引き続き映画事業セグメント(映画営業/映画興行)に計上する

①「ゴジラ」映画シリーズ※1

映画「ゴジラ-1.0」の配信権収入は「映画営業」に計上

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等※2
国内売上	映画営業	映画営業	映画興行	映画営業	IP・アニメ
海外売上		IP・アニメ※3	—※4	IP・アニメ※3	

②TOHO animation作品・サイエンスSARU出資作品

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等※2
国内売上	IP・アニメ	映画営業	映画興行	IP・アニメ※3	IP・アニメ
海外売上		IP・アニメ※3	—※4		

③当社配給のアニメ映画作品(例：映画「名探偵コナン」シリーズ、映画「ドラえもん」シリーズ)

	作品製作(出資配分金)	劇場への配給	劇場での売上	映像配信	ライセンス・物販等※2
国内売上	—※5	映画営業	映画興行	—※6	IP・アニメ
海外売上		—※3,※7	—※5	—※3	

注：表において、営業収入が寡少、または無いものは「—(バー)」としている

※1：①は「ゴジラ」シリーズを含む東宝大怪獣シリーズ作品 ※2：ゴジラキャラクターのIP利用や、ゲーム、音楽、パッケージ、パンフレット等を含む ※3：Toho International, Inc.及びGKIDS, INC.に許諾する作品は「IP・アニメ」に計上する。但し、TOHO Global㈱、TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.に業務委託したものは「映画営業」に計上する ※4：①～③いずれも海外における興行・ストアの売上収益は無い。

※5：③において、東宝㈱映画営業部が一部のアニメ映画作品に出資をしており、その関連収支は「映画営業」に計上する ※6：③において国内で映像配信をする作品は多くないが、営業収入が発生した場合は「映画営業」に計上する ※7：③において一部のアニメ映画作品を海外向けに配給しており、その営業収入は原則として「※3」に基づき計上する

IP・アニメ事業

IP・アニメ事業セグメントに含まれる 東宝(株)の組織・子会社と事業内容

(2025年4月決算説明資料の再掲) (「決算期」の列を追加)

IP・アニメ事業セグメントに 含まれる組織・子会社名	決算期	地域※1		主な事業内容	留意点※2
		国内	海外		
東宝(株) TOHO animation	2月	✓	✓	TOHO animation作品の配信権・海外商品化権の 販売、ゲーム、製作出資	-
東宝(株) ライツ事業部	2月	✓	✓	商品化権やパッケージの販売、グッズ・パンフレット の制作、ゴジラ・ストアの店舗運営等	実写映画作品の商品化権やパッケージの販売、グッズ・パンフ レットの制作も行う
TOHO Global (株)	12月	-	✓	配信権・商品化権の販売	実写映画の海外向け配信権・商品化権の販売も行う※3
Toho International, Inc.	12月	-	✓	ゴジラの配信権・商品化権の販売、ECサイト(ゴジ ラ・ストア、TOHO animation STORE)の運営等、 及びTOHO animationから許諾を受けたアニメ作 品の商品化権の販売	実写映画の製作・出資も行う
TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.	12月	-	✓	配信権・商品化権の販売	実写映画の海外向け配信権・商品化権の販売も行う※3
GKIDS, INC.	12月	-	✓	アニメ映画の北米配給、配信権・パッケージ化権等の 販売	TOHO animation・ゴジラ作品以外の作品の北米配給、配信 権・パッケージ化権等の販売も行う
(株)TOHO animation Studio	2月	✓	✓	アニメ制作	-
(株)サイエンスSARU	1月	✓	✓	アニメ制作、製作出資	TOHO animation作品を除くアニメ作品の制作、製作出資も 行う
(株)東宝ステラ	2月	✓	-	ECサイト(TOHO animation STORE、ゴジラ・ス トア)の運営	実写映画のグッズも扱うECサイト(例: TOHO theater STORE)も運営する
東宝ミュージック(株)	2月	✓	✓	映画やアニメの劇伴音楽(サウンドトラック)の制作・ 著作権管理	舞台音楽制作や実写映画音楽の制作・著作権利用も行う

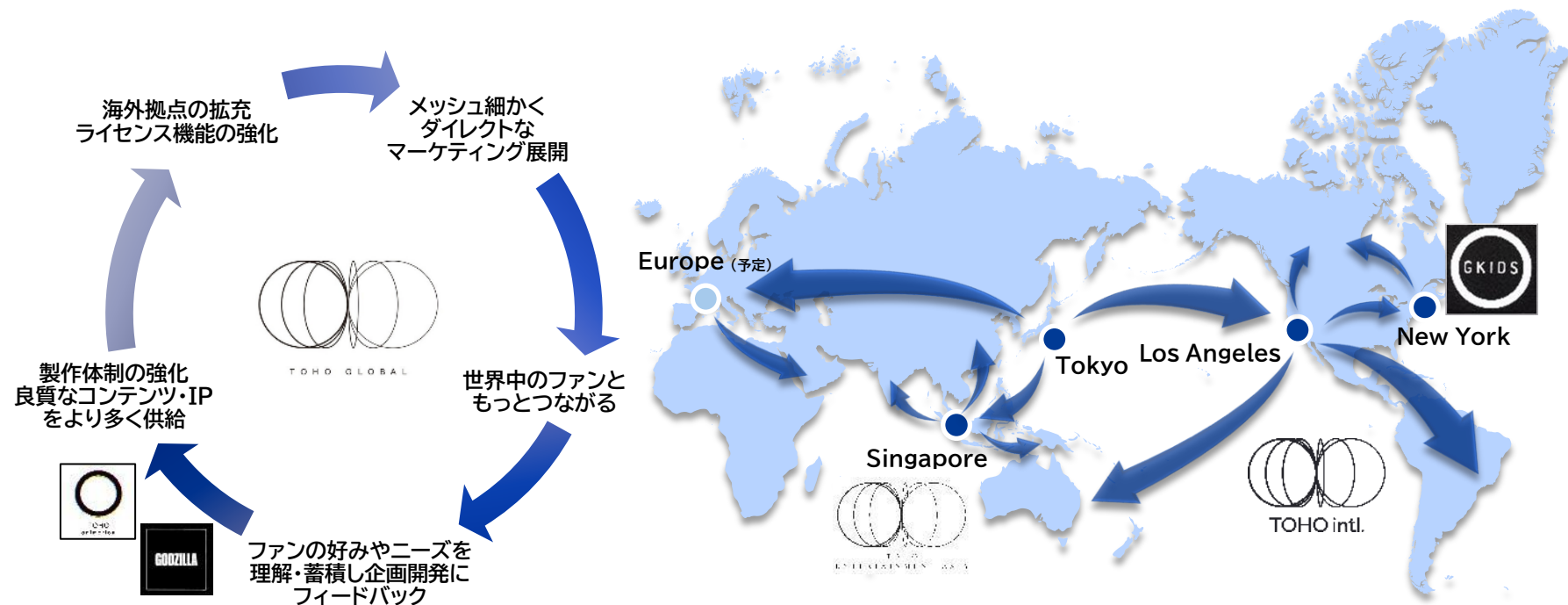
※1: 2025年2月期における営業収入の計上実績 ※2: 留意点に記載の内容もIP・アニメ事業セグメントの外部顧客への営業収入に計上される(但し、※3を除く) ※3: 東宝(株)からの手数料収入を計上しているため、外部顧客への営業収入は無い

IP・アニメ事業

海外戦略

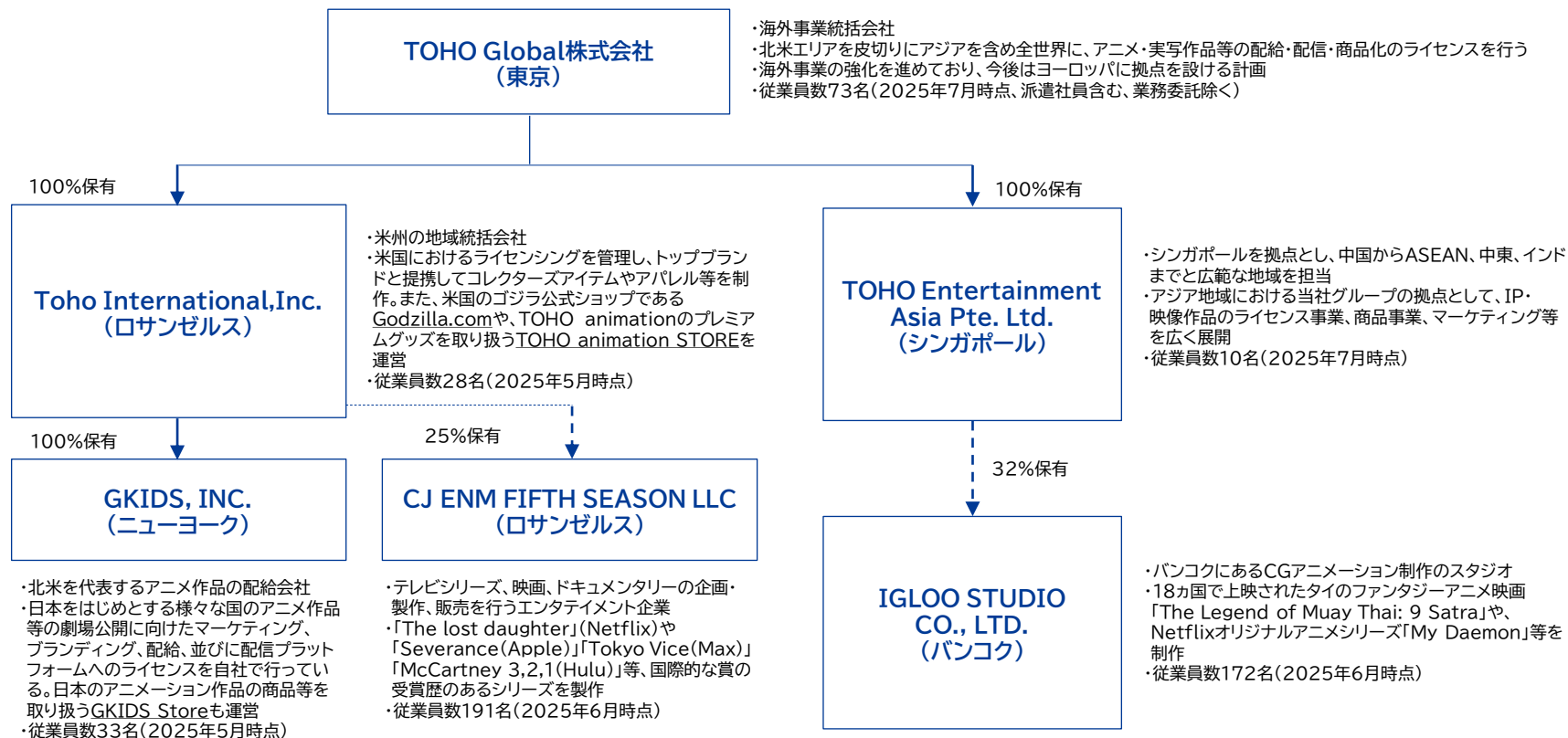
(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

海外拠点を拡充し、世界中のお客様により多くの良質なコンテンツ・IPを広く届け、世界中のファンとダイレクトにつながる——
2032年には海外売上高比率を30%まで引き上げることを目指します。



IP・アニメ事業

海外の主なグループ会社



演劇事業

中期経営計画の内容と直近のトピックス

- ・ 外部劇場での主催公演、新会員サービス、多様なチケット価格や販売形態の多角化により帝劇休館中の興行収入を底支えしていきます。
- ・ 既存人気作品の価値最大化、オリジナル作品開発、海外展開により、東宝演劇のブランド力を高め、新・帝国劇場へとつなげていきます。

Point 1

東宝演劇ブランドの継承とさらなる飛躍

- ・ 帝劇休館中も外部の劇場を活用して公演回数を確保
- ・ 既存人気作品を時代にあわせたキャスティングや演出により定期的に上演するとともに、良質なオリジナル作品の開発・上演にも注力

Point 2

興行力強化のためのマーケティング施策

- ・ 新会員サービスでお客様の満足度を最大化し、観客増を図る
- ・ 多様なチケット価格と販売形態の多角化により興行収入を底支え
- ・ 配信、キャラクターグッズ開発等、演劇作品のマルチユース展開

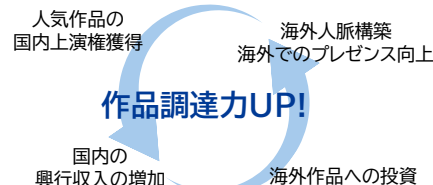
Point 3

海外でのプレゼンス向上と作品調達力の強化

- ・ 舞台「千と千尋の神隠し」海外公演を継続し、他作品の海外ライセンス公演も積極的に展開
- ・ 海外プロデュース作品に対して戦略的に投資することで、国内上演権を優先的に確保し、最高のラインナップを編成

直近のトピックス

- 「帝劇 Legacy Collection」がスタート
 - ・ 劇場解体の際に生まれる様々なマテリアルを活用して商品を開発するプロジェクト
 - ・ 第1弾は、カリモク家具が製造を担当し、帝国劇場の象徴的な資材を活かした家具やインテリア小物を展開。販売はECサイト「ZOZOVILLA」で行われる。2026年春頃までに順次商品を発売予定
 - ・ 第2弾は、席番プレート記念商品を販売予定



不動産事業

中期経営計画の内容と直近のトピックス

- ・ 中長期的な収益基盤の維持を図りつつ、資産効率の向上を目指します。

Point
1

既存物件の収益向上と物件ポートフォリオの見直し

- ・ 既存物件は空室率の抑制とともに賃料アップに注力し、物件価値の向上を図る
- ・ 中長期的な視点で物件ポートフォリオの見直しを図り、保有意義の低い物件については売却等の施策を検討・実施する

Point
2

再開発事業の推進

- ・ 「帝劇ビル」の再開発事業を着実に推進する
- ・ その他の案件はエンタテインメントとのシナジーや投資採算性を精査のうえ、慎重に進める

Point
3

新規物件取得の抑制

- ・ 物件価格の高止まりや資産効率重視の観点から前中計の方針を見直し、新規物件の取得は抑制する

直近のトピックス

● 物件ポートフォリオの見直しについて

不動産戦略検討委員会を立ち上げ、既存物件の保有意義の検討を開始

● IPを活用した自社物件の価値向上

・ 新宿東宝ビルのホテルグレイスリー
新宿に、ゴジラのコンセプトルーム
第2弾「ゴジラVSキングギドラルーム」が
本年7月に誕生

(2名1室:税サ込122,400円～※料金は変動型)

・ 開業時よりゴジラヘッドやゴジラロード等
IPを活用した不動産事業を展開。10周年を「ゴジラVSキングギドラルーム」
迎えてシナジー効果の更なる向上を目指す



● (仮称)丸の内3-1プロジェクト(国際ビル・帝劇ビル建替計画)の進捗

2025年4月より帝劇ビルの解体に着手

(仮称)丸の内3-1プロジェクト(国際ビル・帝劇ビル建替計画)の概要※

- ・ 事業者:三菱地所、東宝、出光美術館
- ・ 敷地面積:合計:約9,900㎡、延床面積:約176,000㎡
- ・ 階数・高さ:地上29階、地下4階/約155m

※関係機関との調整等により変更となる場合があります

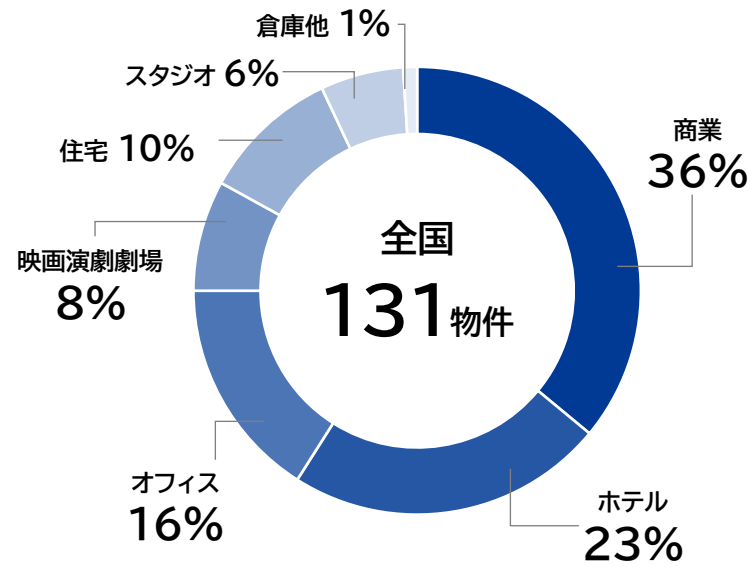
不動産事業 東宝の不動産ポートフォリオ

(2025年5月末時点)

中長期的な収益基盤の維持を図りつつ、資産効率の向上を目指す

当社保有主要物件	主な用途
【東京都】61件	
東宝日比谷ビル	オフィス、商業
東宝日比谷プロムナードビル	オフィス、商業
東京宝塚ビル	オフィス、演劇劇場、映画館
帝劇ビル	(再開発中)
東宝シアタークリエビル	ホテル、演劇劇場
有楽町センタービル(有楽町マリオン)	商業
渋谷シネタワー	オフィス、商業、映画館
新宿東宝ビル	ホテル、商業、映画館
東宝スタジオ	スタジオ
【大阪府】10件	
HEPナビオ	商業、映画館
東宝南街ビル	商業、映画館
【愛知県】4件	
エンゼルビル	商業
【その他】56件	

当社保有物件のポートフォリオ(賃貸部分の面積比率)



Appendix 4 コーポレート

中期経営計画2028の指針

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

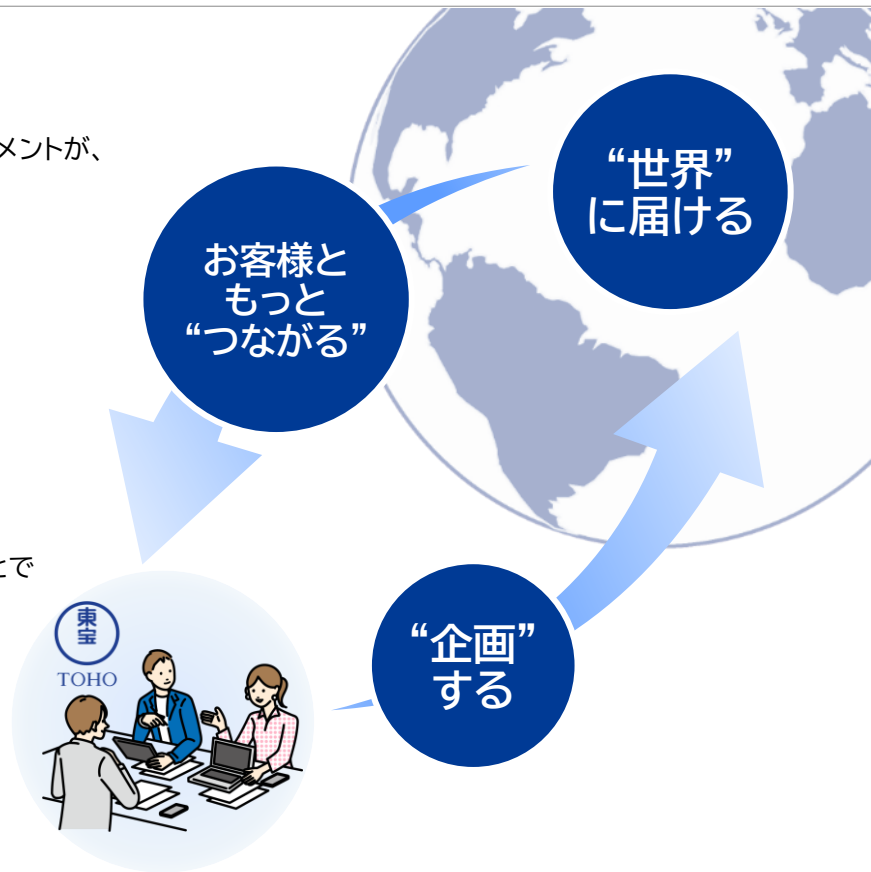
映画「ゴジラ-1.0」の米国アカデミー賞受賞。アニメ「呪術廻戦」の全世界的大ヒット。
舞台「千と千尋の神隠し」連日満席のロンドン公演。私たちの生み出したエンタテインメントが、
世界中のお客様の心を動かすことができるという自信と確信を得た3年間でした。

“人”が、情熱を傾けて“企画”をし、エンタテインメントを創り、“世界”に届ける——
これが、どんなに外部環境が変化したとしても、私たちの変わることのない
シンプルで本質的な価値創造ストーリーです。

加えて、私たちがより持続的に成長していくためには、
エンタテインメントを単に広く届けるだけではなく、
世界中のお客様の好みやニーズを深く知り、お客様ともっと積極的に“つながる”ことで
ファンになっていただくことが大切になると考えています。

“人”、“企画”、“世界”、そして、お客様ともっと“つながる”

これを中期経営計画2028の指針として、私たち東宝グループは
世界中のファンから愛されるエンタテインメント企業を目指して邁進していきます。



中期経営計画2028の重点ポイント

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

人材

- 少数精鋭から**精鋭多数**への転換
——成長の源泉である“人”を3年間で約**200**名採用*1、人への投資とエンゲージメント向上に注力

*1 東宝株式会社を対象としたもの

コンテンツ
IP

- 約**200**タイトルの豊富で良質なエンタテインメントを提供、世界中のお客様に感動を届ける
- 映画・アニメ・演劇・ゲーム等のコンテンツの企画・製作、IP創出に対し、3年間で約**700**億円を投下
- ゴジラIPの開発・展開に対し、3年間で約**150**億円を投下、IPビジネスを本格的に強化する
- コンテンツ・IP領域のM&Aやシネコン出店等の成長投資として3年間で**1,200**億円程度を設定
- 2032年までにTOHO animationの人員を倍増、IP・アニメ事業の営業利益**200%***2以上を目指す

*2 新セグメントにおける営業利益(2025年2月期対比)

デジタル

- 東宝グループの顧客データ基盤を整備する **TOHO-ONE** プロジェクトに対し、約**50**億円を投資
——2026年春、お客様と一つにつながる“新しい会員サービス”ローンチ予定

海外

- 海外拠点の拡充を加速するとともに、新たにグループインした企業とのシナジーを創出
- 2032年に向けて海外売上高比率を現状の10%程度から**30**%まで引き上げる

中期経営計画2028の数値目標

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

営業利益・株主還元・ROEの各数値目標は、前中計期間から引き上げます。
また、長期ビジョン2032で掲げたROEの目標(8~10%程度)を引き上げ、恒常的に10%以上とします。



中期経営計画2028のキャピタルアロケーション

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

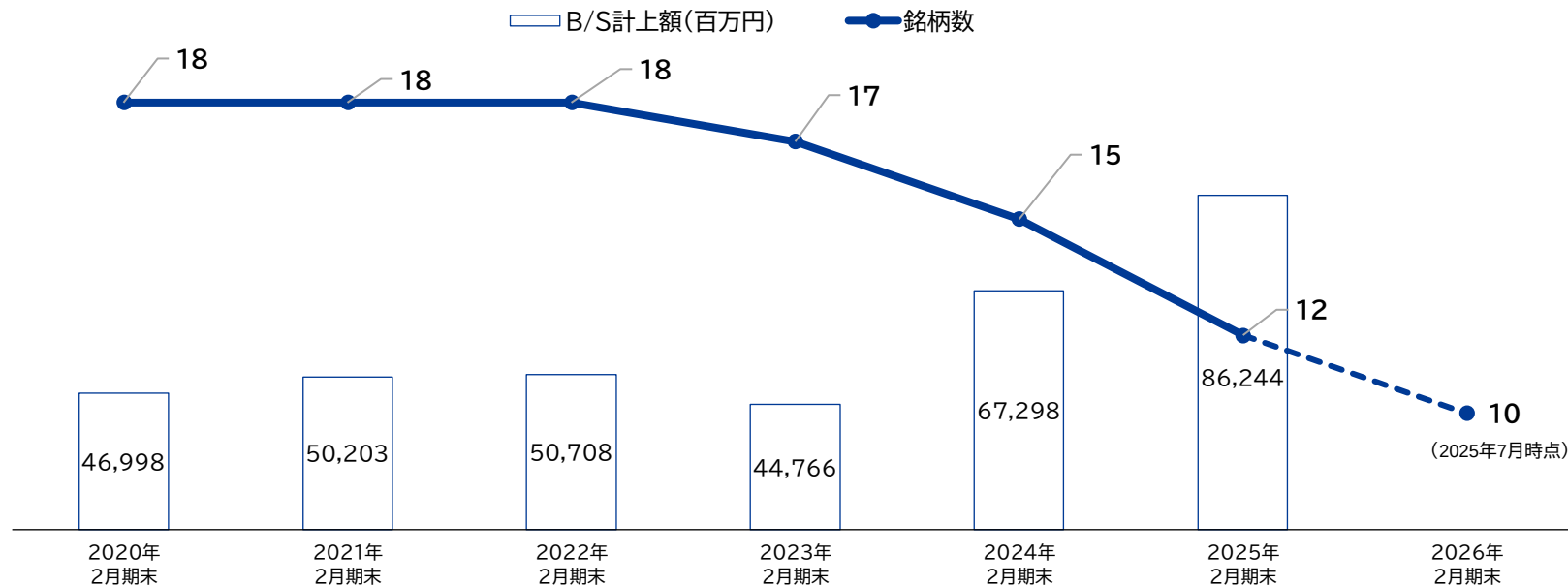
むこう3年間は、営業キャッシュフローに加え、借入・社債発行等の資金調達、政策保有株式や保有不動産の売却も検討・実施し、成長投資と株主還元に充当していく方針とします。



※ 2025年7月3日に500億円を上限とする社債の発行登録枠を設定

政策保有株式のB/S計上額及び銘柄数の推移

2025年2月期は3銘柄の削減を実行。但し、B/S計上額は保有先の株価上昇等により増加
2025年6月に1銘柄を売却、7月に1銘柄を売却予定



ROEの推移と株主資本コスト

(2025年4月決算説明資料の再掲)

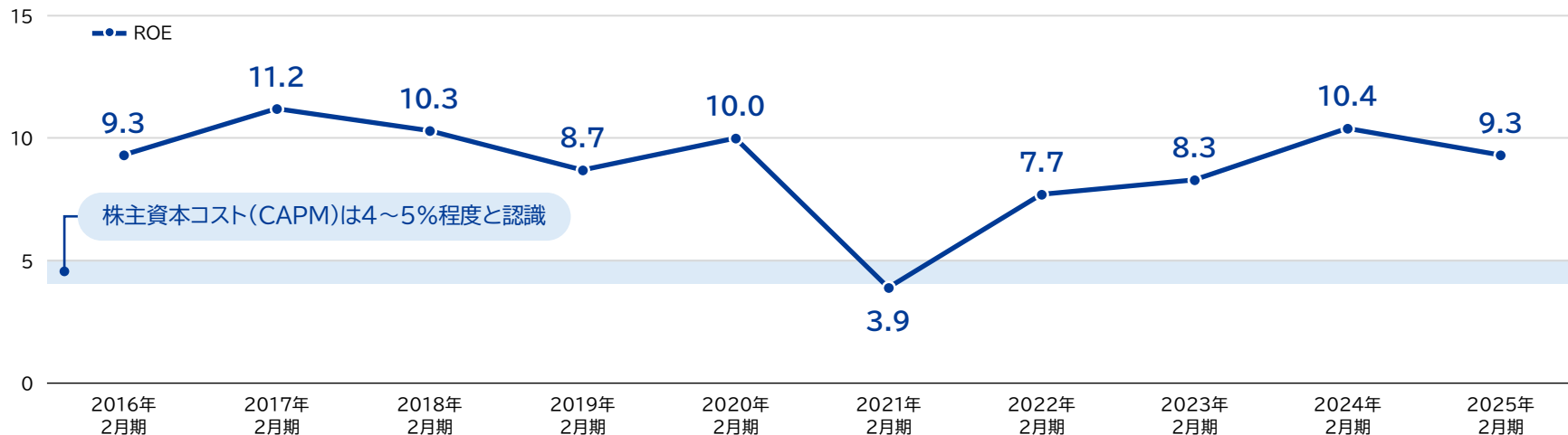
ROEは8～10%前後で推移

コロナ禍の2021年2月期を除き株主資本コスト(CAPM)※を上回る

今後も株主・投資家との対話を通じて、株主資本コストの把握に努めていく

ROEと株主資本コスト(CAPM)との比較

(単位:%)



※当社の株主資本コスト(4～5%程度)の前提:リスクフリーレート(1.0%)、 β 値(0.45～0.75)、市場リスクプレミアム(6.0%)

※株式会社ブルーテラス・コンサルティングによる評価

TOHO-ONE プロジェクト

(2025年4月「中期経営計画2028」の再掲)

東宝グループがコンテンツ・IPのファンに贈る新しい会員サービス“TOHO-ONE”、2026年春に日本でローンチ予定。
それぞれの楽しみ方に合わせた多様な“好き”を応援します。



本中計期間中に予定している体験例

無料

- TOHOシネマズ
無料映画鑑賞



特別

- TOHOスタジオ
特別ツアー



限定

- アニメの限定グッズ
- 映画・演劇の限定イベント
- ゲームとの連携による
限定インセンティブ



ファンのニーズを知り、進化するTOHO-ONE

- 顧客体験の進化
- データ活用により、多様な“好き”を見える化、次のヒットへつなげる
- 顧客起点のデータを活かして事業間シナジーを創出

統合データ基盤

主なプレスリリース

2025年3月～2025年7月15日

25/3/24 役員の異動に関するお知らせ

3/24 2025年2月期(第136期)配当予想の修正に関するお知らせ

4/14 「東宝グループ 中期経営計画2028」策定に関するお知らせ

4/14 報告セグメントの変更に関するお知らせ

4/14 投資単位の引下げに関する考え方及び方針について

4/14 自己株式の消却に関するお知らせ(会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)

4/14 支配株主等に関する事項について

4/14 業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ

4/30 自己株式の消却完了に関するお知らせ(会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)

5/20 連結子会社の解散に関するお知らせ

5/29 役員人事に関するお知らせ

5/29 取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ

6/27 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ

7/7 投資有価証券の売却に関するお知らせ

7/15 中国本土における「ゴジラ」IPライセンス事業推進に向けて、上海新創華文化発展有限公司(SCLA)と戦略的パートナーシップを締結

7/15 投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

IRカレンダー

主なスケジュール	備考
25/5/29 第136回定時株主総会	—
5/29 2025年2月期 FACT BOOK 発行	—
5/29 有価証券報告書－第136期(2024/03/01－2025/02/28)	—
7/15 2026年2月期第1四半期 決算発表	—
9月 東宝グループ 統合報告書2025 発行(予定)	—
10/15 2026年2月期第2四半期 決算発表(予定)	—
10/16 2026年2月期第2四半期 決算説明会(予定)	機関投資家、アナリスト向け

IR活動の強化

機関投資家の皆様からの取材依頼やフィードバックはpr_ir@toho.co.jpまでご連絡ください。

開示の強化と対話の充実を図り、経営と資本市場をつなぐフィードバック・ループを確立する

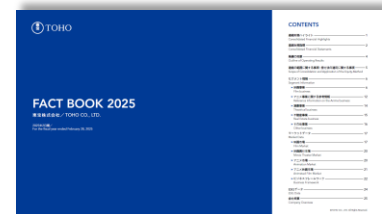
資本市場の声を社内にフィードバック

社内フィードバック	回数・頻度
取締役会/経営会議	年5回(四半期毎・年度毎)
関係部署とIRの個別ミーティング	四半期毎

対話の充実

IRイベント	主な対応者
決算説明会	代表取締役社長、取締役副社長執行役員
事業説明会	担当執行役員
IRミーティング	取締役副社長執行役員、IRチーム

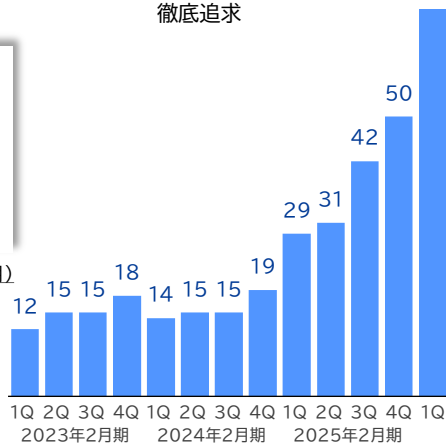
開示の強化



FACT BOOK 2025の発行(2025年5月)

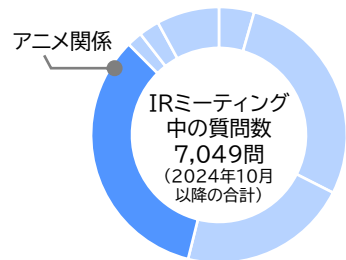
各四半期決算スライドのページ数

今後は、わかりやすさを > 69
徹底追求

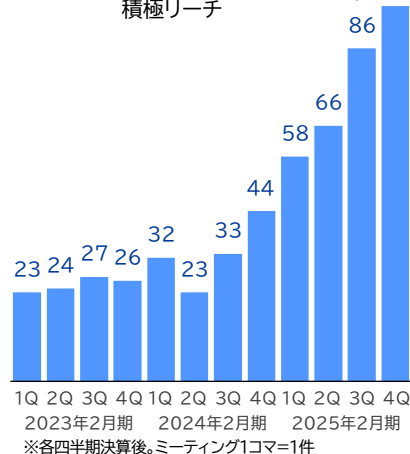


四半期毎のIRミーティング件数

今後は、幅広い投資家へ > 97
積極リーチ



投資家質問のキーワード登場回数
(事例: 2024年10月以降の合計)
・"ゴジラ" 290回
・"GKIDS" 189回
・"ROE" 48回



Entertainment for YOU

—— 世界中のお客様に 感動を ——

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関する
お問い合わせ

東宝株式会社 コーポレート本部 コーポレートコミュニケーション部 IR室
Mail:pr_ir@toho.co.jp

UD FONT

本資料では見やすいユニバーサルフォントを使用しています。